2022年8月から2023年9月第3週までのマスク着用と着用意向

2023年10月6日

仲田泰祐（東京大学）
高久玲音（一橋大学）

分析

- 新型コロナ感染症との向き合い方が時間と共に変化する中、今後のマスク着用について注目が集まっている。

- 本レポートでは、2022年8月から週次で行っているマスクに関するアンケート調査の途中経過を報告
  - マスク着用のこれまでを客観的に把握
  - マスク着用のこれからを考える材料

アンケート調査の概要（１）

- アンケート調査の概要
  - クロスマーケティング社
  - 2022年8月第2週から毎週調査
    - 2023年4月から隔週調査に変更
  - 各調査は20歳から79歳の個人に配布。男女比と年齢構成比が国勢調査と等しくなるように回収
  - ここでは、2023年9月第3週までの結果を報告

- アンケート調査の特徴
  - 高頻度で長期にわたり継続
  - 「着用しているか否か」だけでなく、「着用すべきだと思うか否か」も調査
  - 様々な場面ごとの着用状況と着用意向を調査

アンケート調査の概要（２）

- 着用状況
  - 実際にここ1週間でマスクを着用していたか？
  - 「全くしていない」、「あまりしていない」、「時々している」、「おおむねしている」、「常にしている」
- 着用意向
  - 「外しても良いと思う」、「どちらかというと外しても良いと思う」、「どちらとも言えない」、「どちらかというと外すべきではないと思う」、「外すべきではないと思う」
- 判断理由
  - 「マスクの不快感・負の影響の懸念」、「慣れ」、「顔の一部を隠せる」、「医療ひっ迫度合い」、「感染状況」、「周囲の着用状況」、「新型コロナ以外の健康上の理由」、「政府の方針・見解」、「専門家の方針・見解」、「天候」
- 質問票の例は「2022年8月から2023年3月第1週までのマスク着用と着用意向」を参照
  - https://www.bicea.e.u-tokyo.ac.jp/policy-analysis-58/

重要ポイント

- マスク着用状況・マスク着用意向
  - 様々な場面で3月後半にマスクを外す人々が増加
  - 今年1月から観察される「外しても良い」と考えている人々の増加が5月も継続

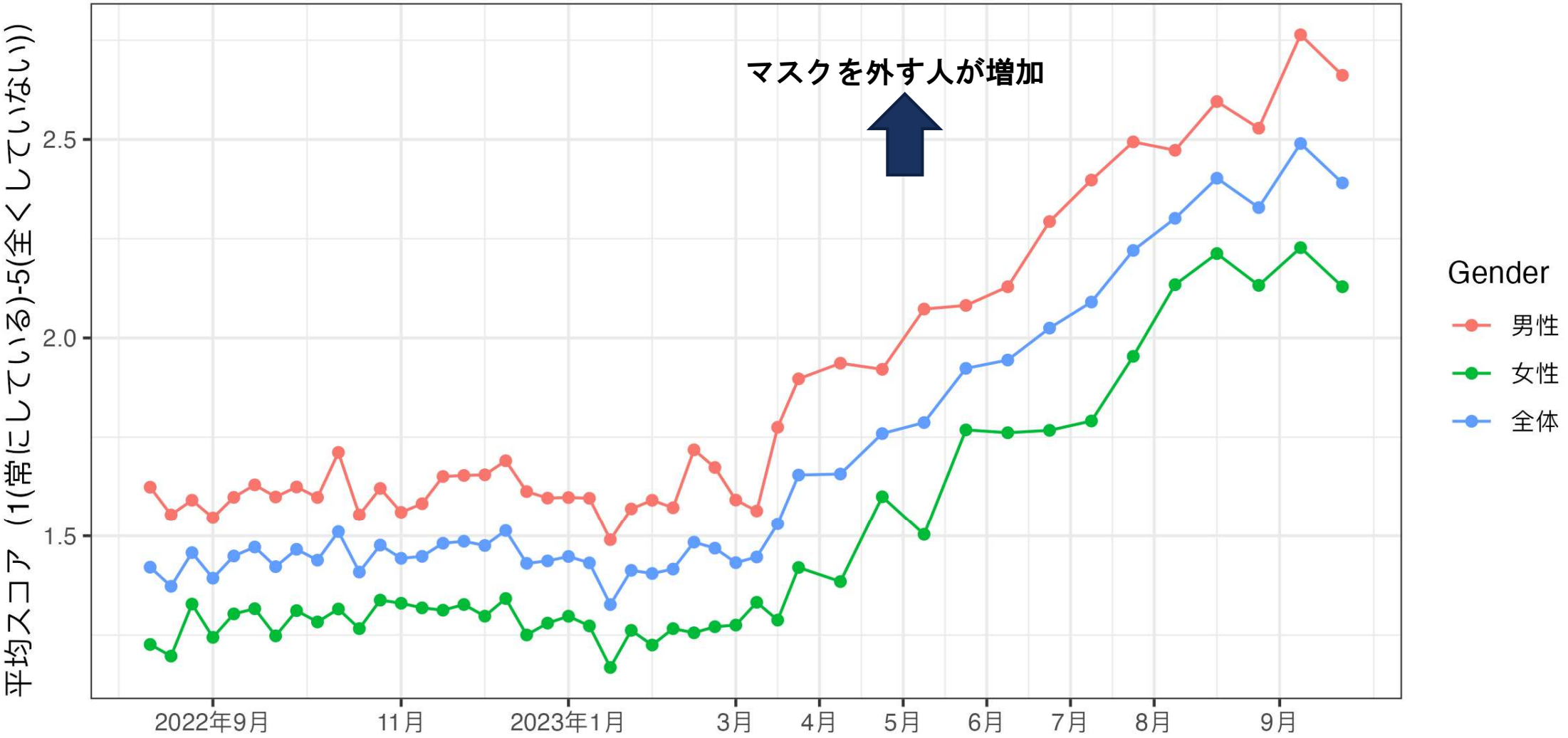
- マスク着用・非着用の判断材料
  - 3月中旬から変化
  - 「居住地域の感染状況」、「周囲の着用状況」の重要性は継続
  - 「居住地域の医療逼迫状況」、「政府の見解や方針」、「専門家の見解や方針」の重要性が低下（もしくはさらに低下）

アンケート結果

１．マスク着用状況
２．マスク着用意向
３．判断材料

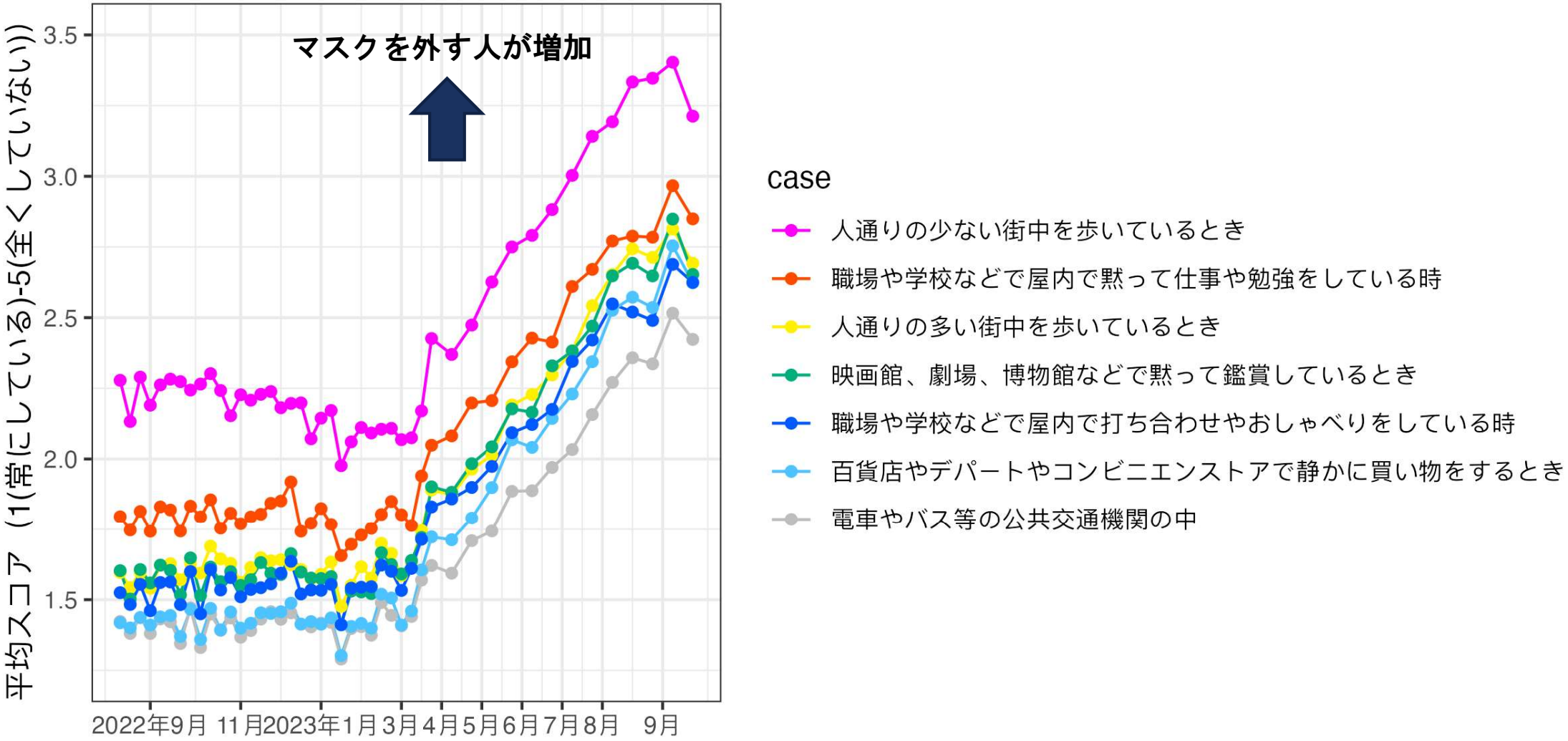
１．マスク着用状況

図1：「1ー5」
全ての場面の平均



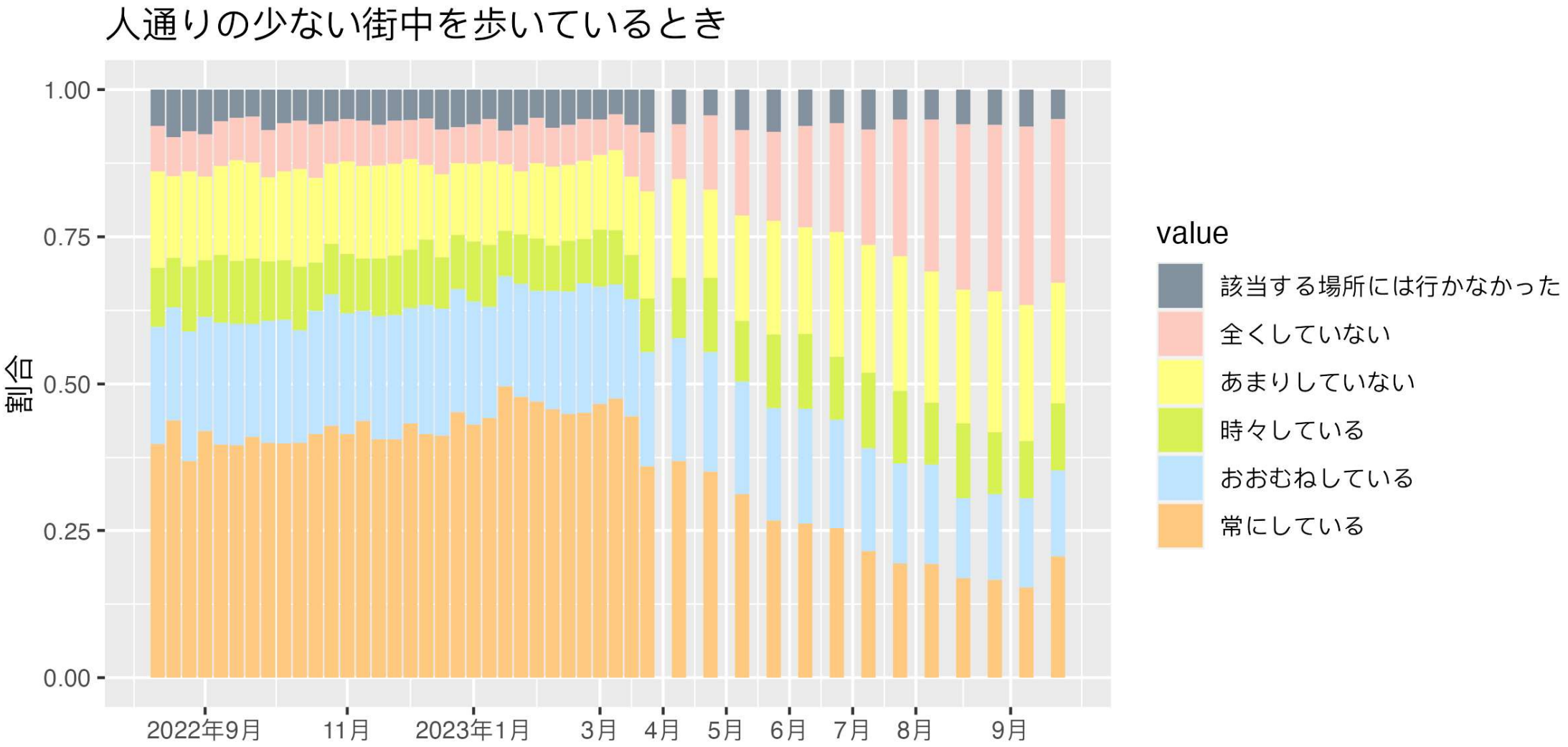
（注）「該当する場所には行かなかった」を除いた集計

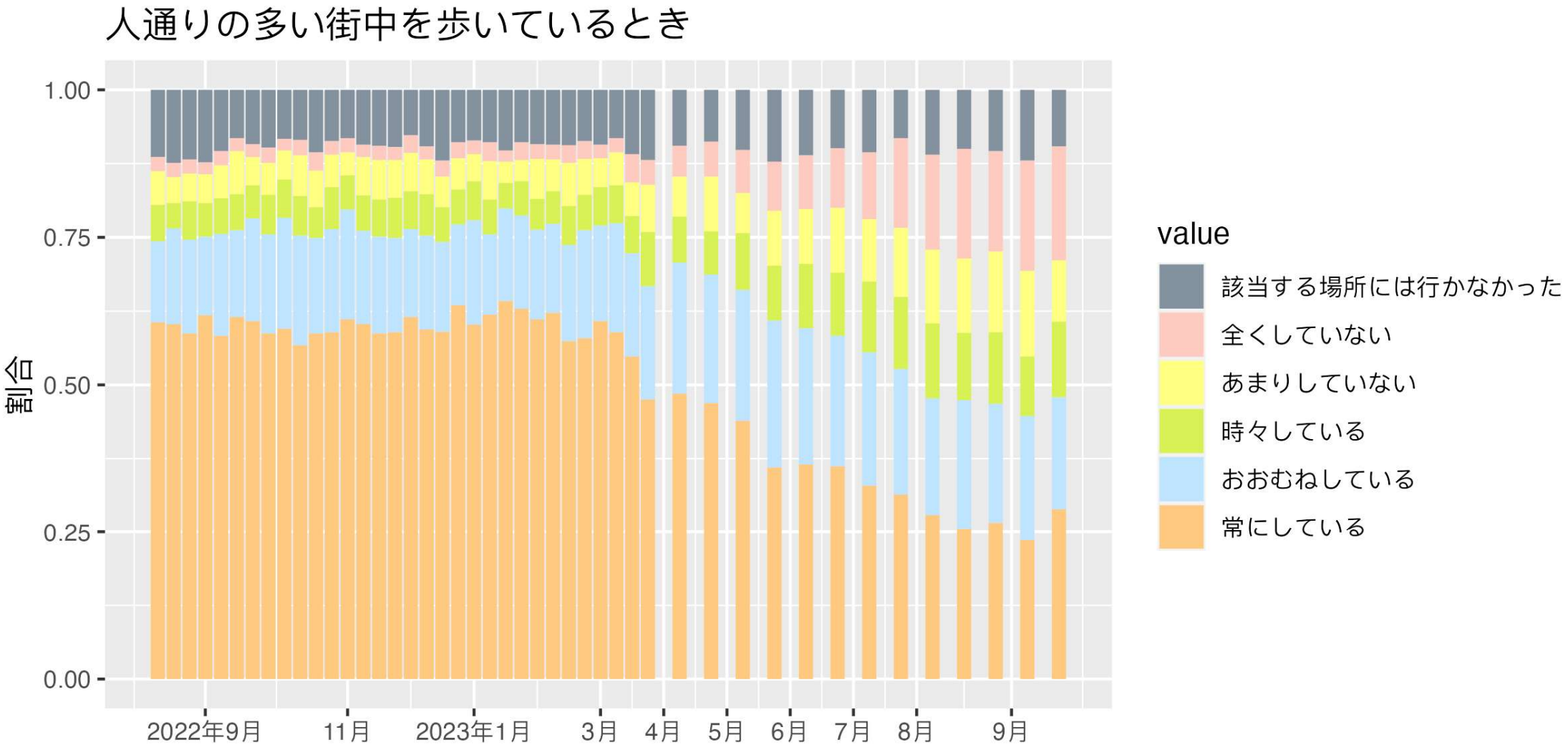
図2：「I－5」
場面ごとに線

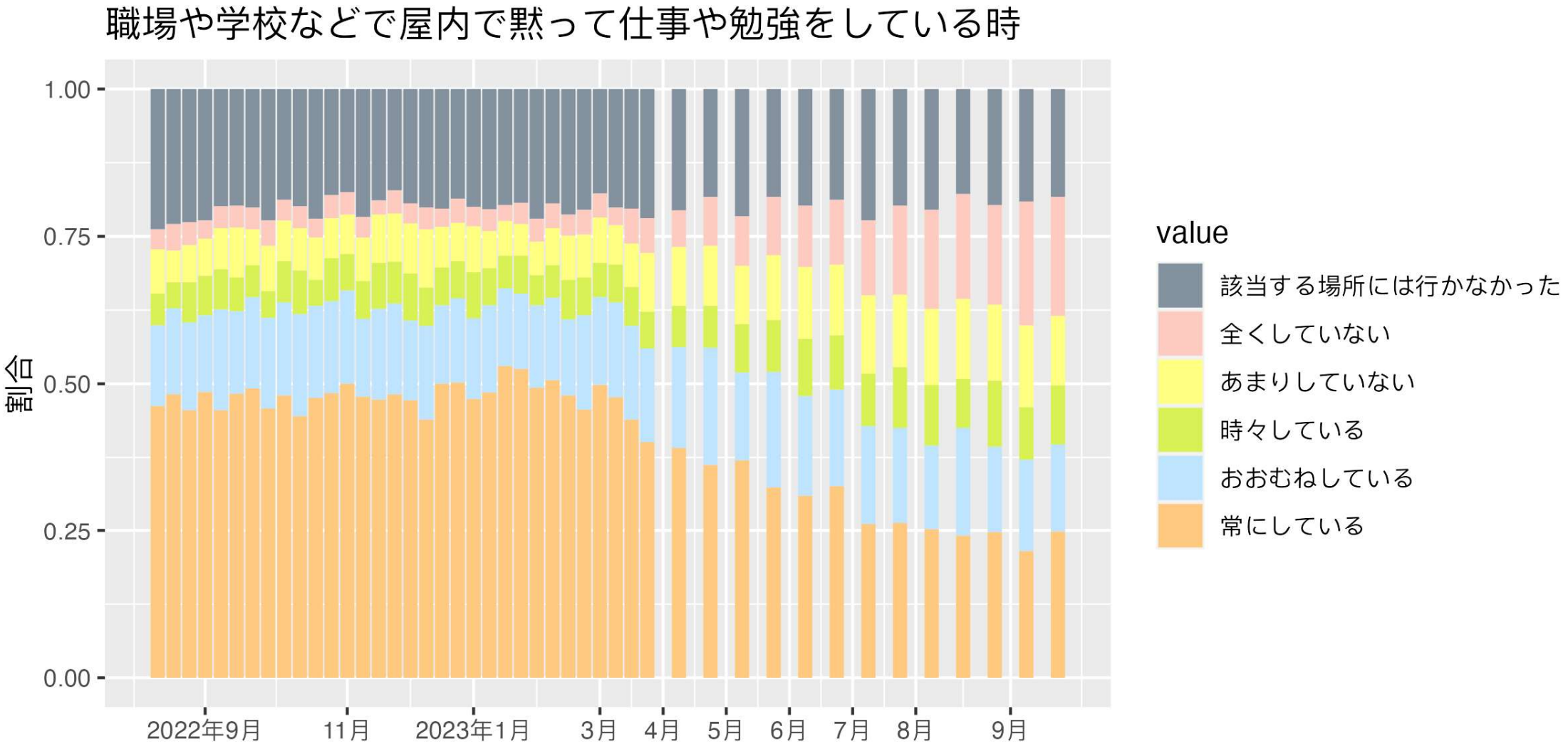


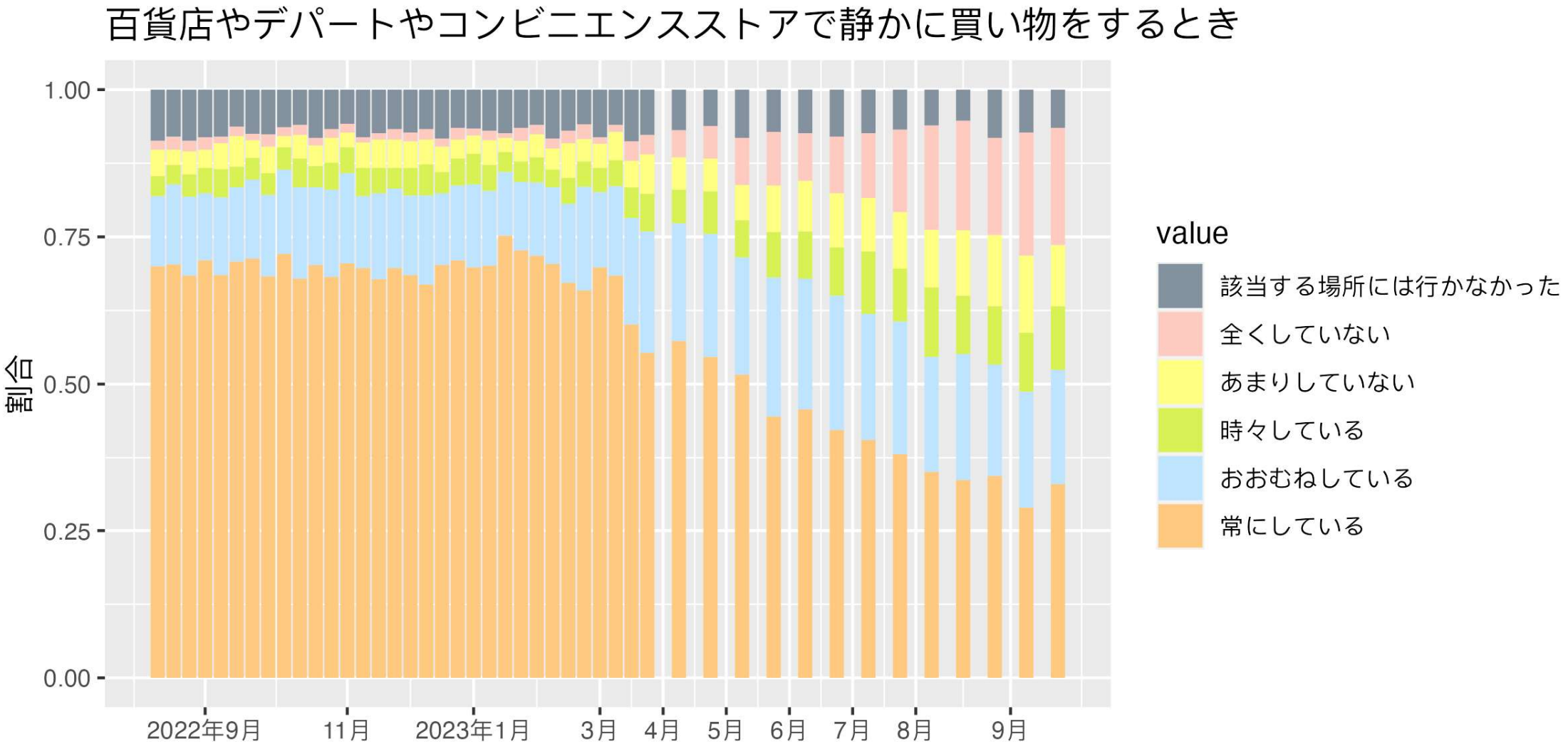
（注）「該当する場所には行かなかった」を除いた集計

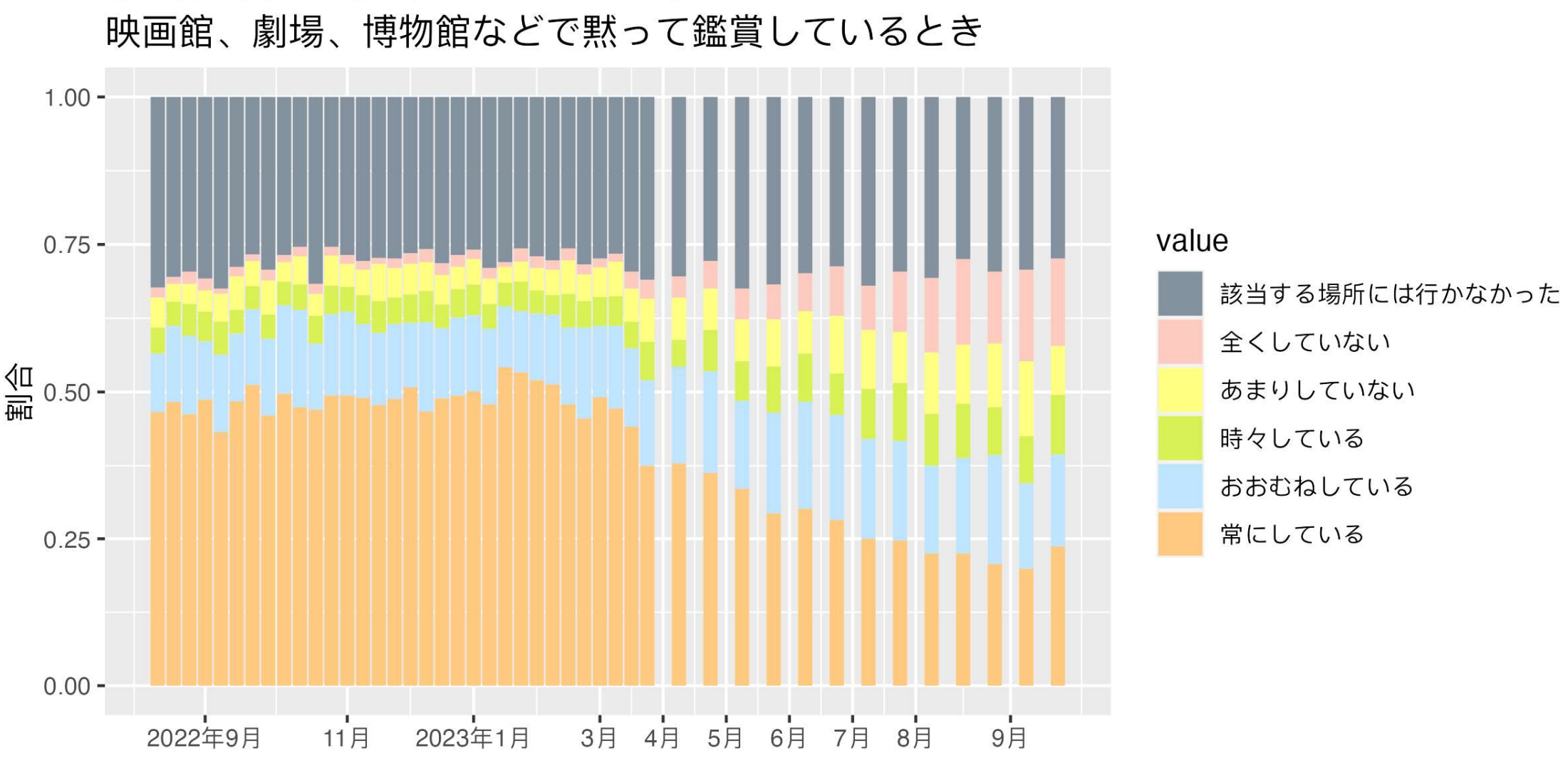
図3～：1から5
場面ごとに一つの図＜7場面＞

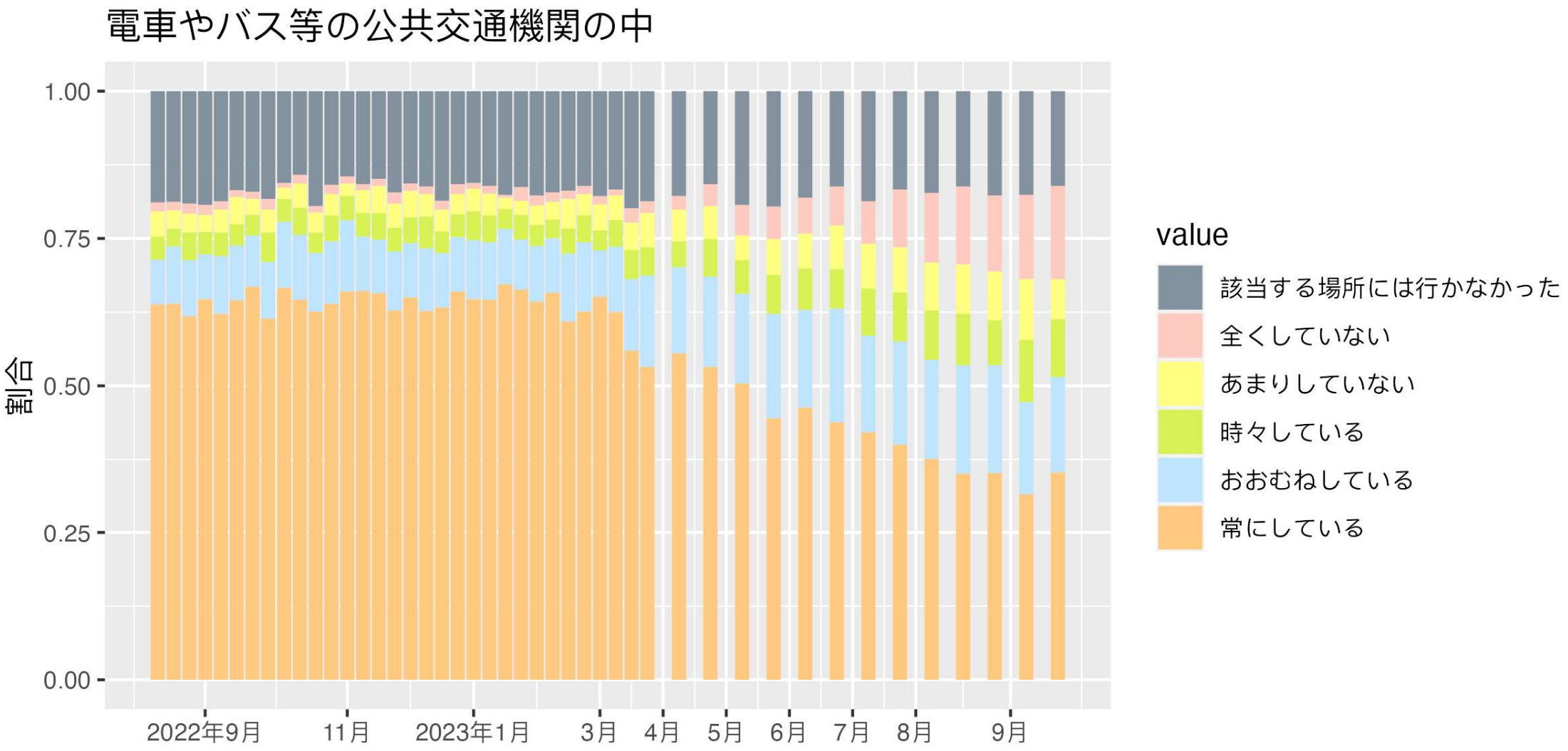

人通りの少ない街中を歩いているとき
割合
1.00
0.75
0.50
0.25
0.00
2022年9月
11月
2023年1月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
value
該当する場所には行かなかった
全くしていない
あまりしていない
時々している
おおむねしている
常にしている

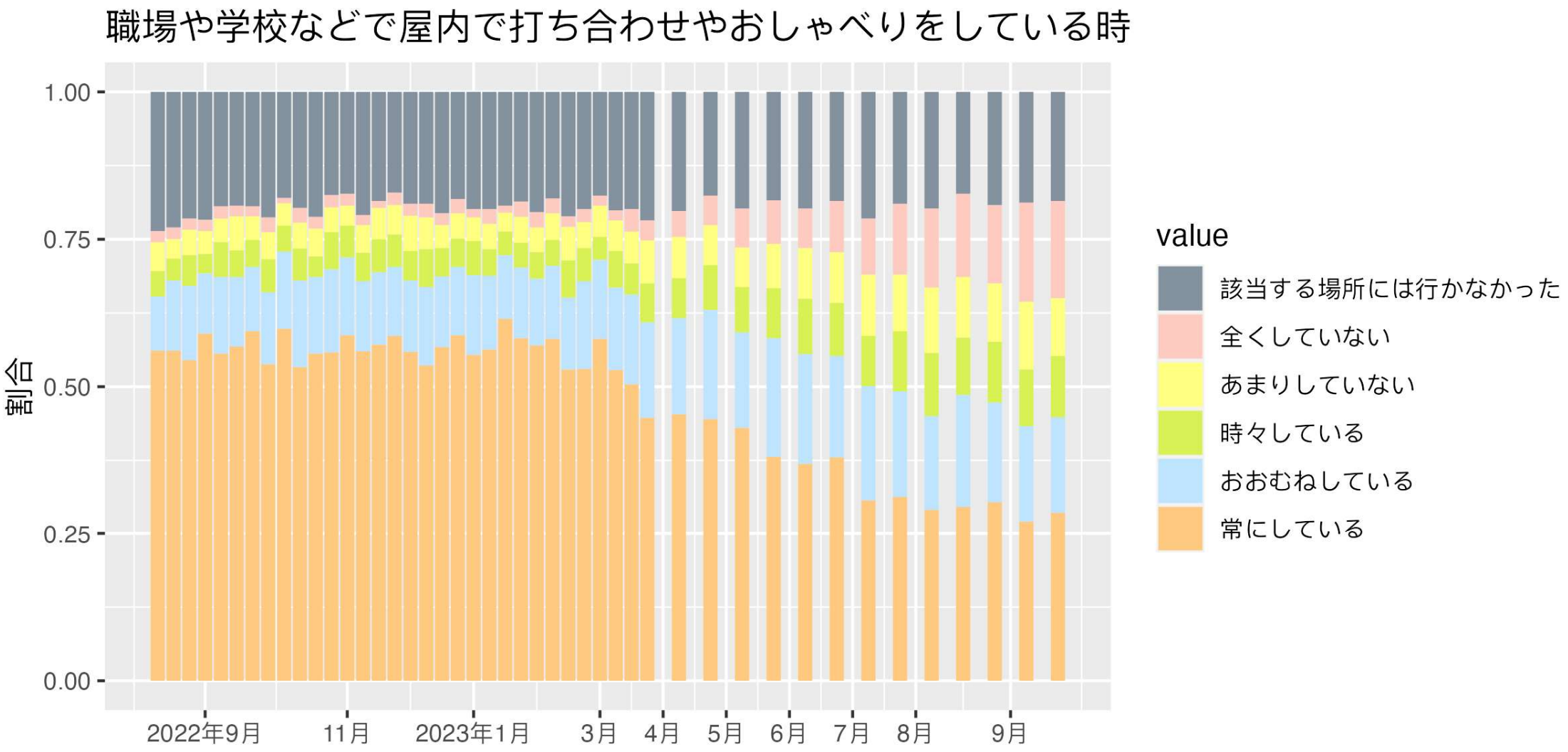

人通りの多い街中を歩いているとき
割合
1.00
0.75
0.50
0.25
0.00
2022年9月
11月
2023年1月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
value
該当する場所には行かなかった
全くしていない
あまりしていない
時々している
おおむねしている
常にしている


職場や学校などで屋内で黙って仕事や勉強をしている時
割合
1.00
0.75
0.50
0.25
0.00
2022年9月
11月
2023年1月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
value
該当する場所には行かなかった
全くしていない
あまりしていない
時々している
おおむねしている
常にしている


百貨店やデパートやコンビニエンスストアで静かに買い物をするとき
割合
1.00
0.75
0.50
0.25
0.00
2022年9月
11月
2023年1月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
value
該当する場所には行かなかった
全くしていない
あまりしていない
時々している
おおむねしている
常にしている


映画館、劇場、博物館などで黙って鑑賞しているとき
1.00
0.75
0.50
0.25
0.00
割合
2022年9月
11月
2023年1月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
value
該当する場所には行かなかった
全くしていない
あまりしていない
時々している
おおむねしている
常にしている


電車やバス等の公共交通機関の中
割合
1.00
0.75
0.50
0.25
0.00
2022年9月
11月
2023年1月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
value
該当する場所には行かなかった
全くしていない
あまりしていない
時々している
おおむねしている
常にしている


職場や学校などで屋内で打ち合わせやおしゃべりをしている時
割合
1.00
0.75
0.50
0.25
0.00
2022年9月
11月
2023年1月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
value
該当する場所には行かなかった
全くしていない
あまりしていない
時々している
おおむねしている
常にしている

２．マスク着用意向

図1：「1ー5」
全ての場面の平均

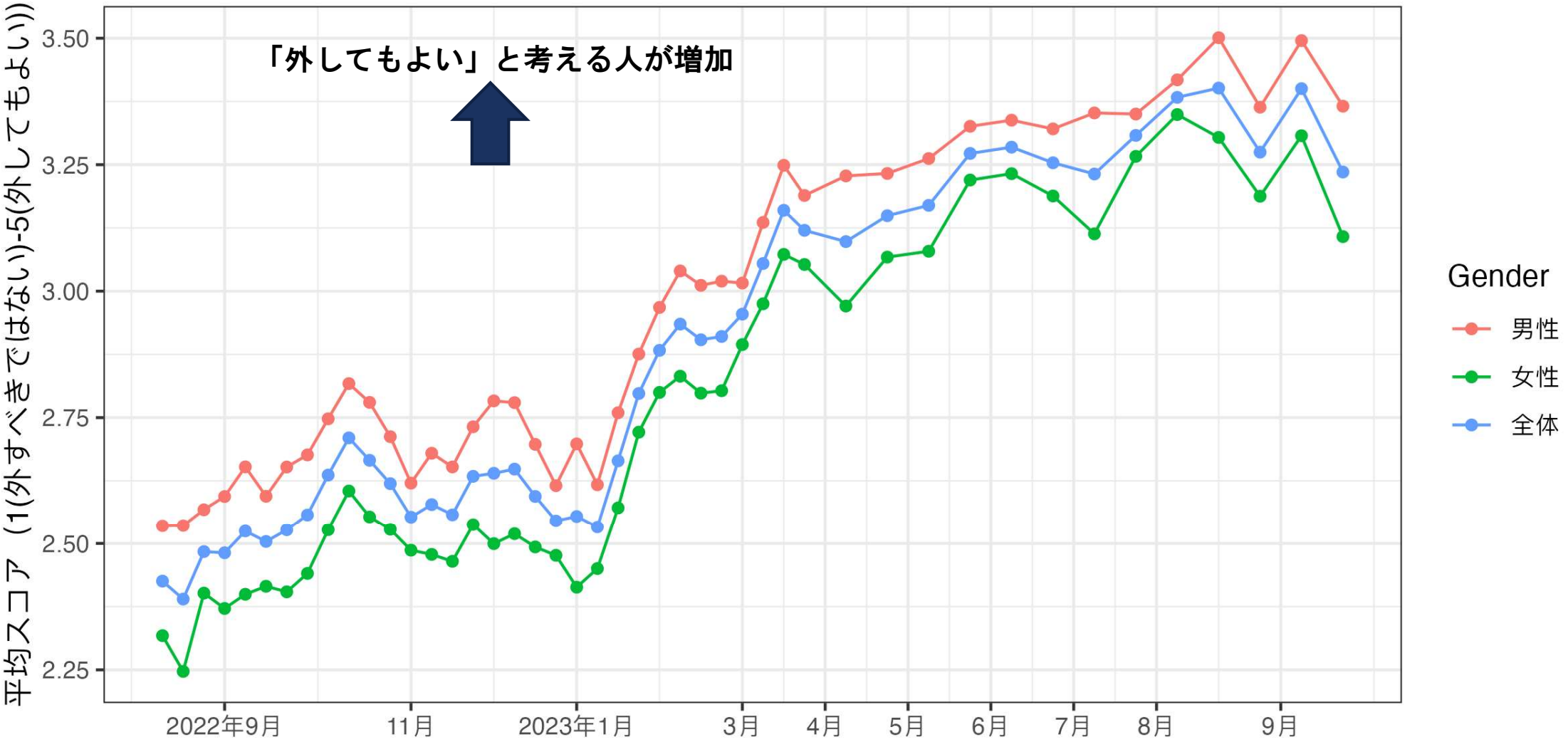

「外してもよい」と考える人が増加
平均スコア（1(外すべきではない)-5(外してもよい)）
3.50
3.25
3.00
2.75
2.50
2.25
2022年9月
11月
2023年1月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
Gender
男性
女性
全体

図2：「I－5」
場面ごとに線

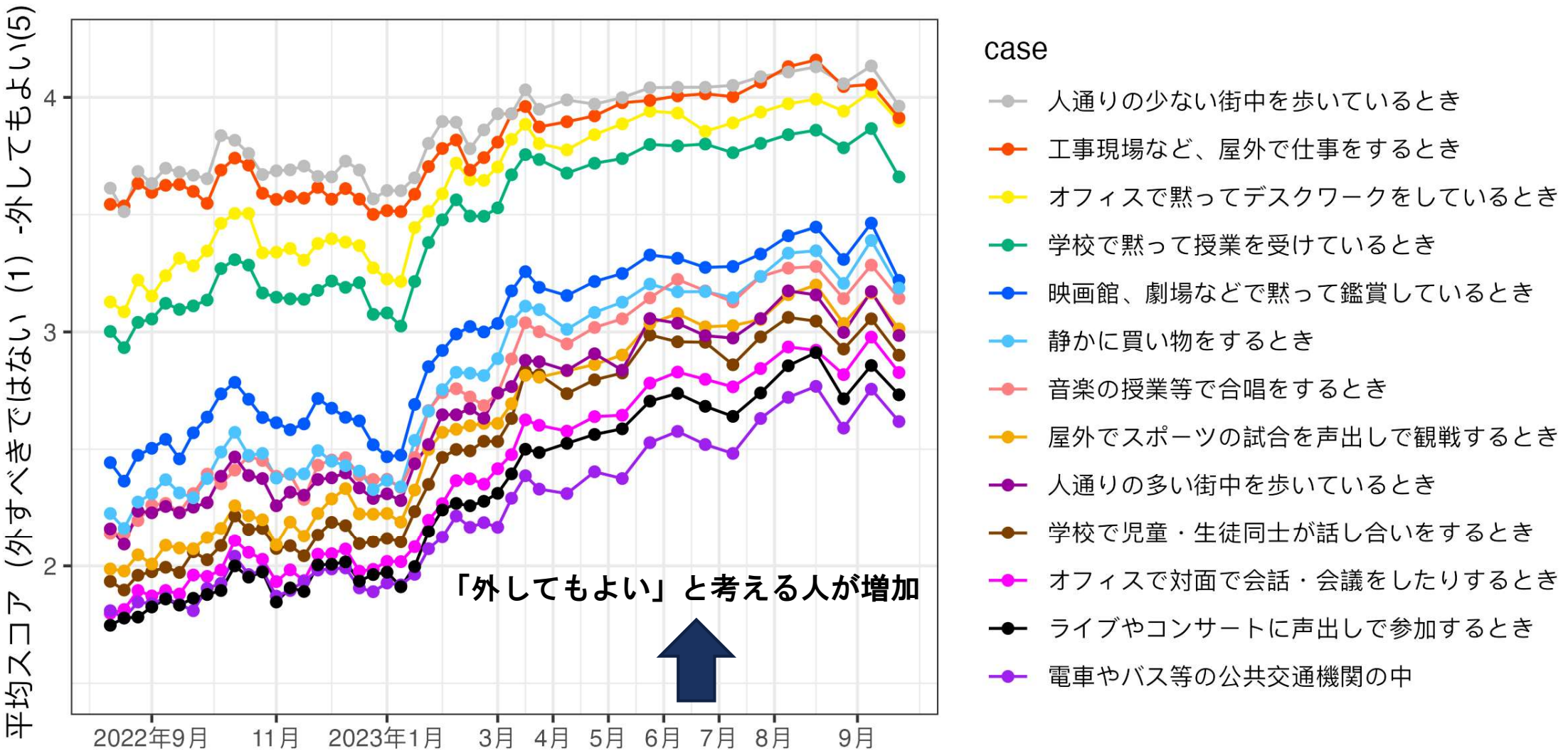
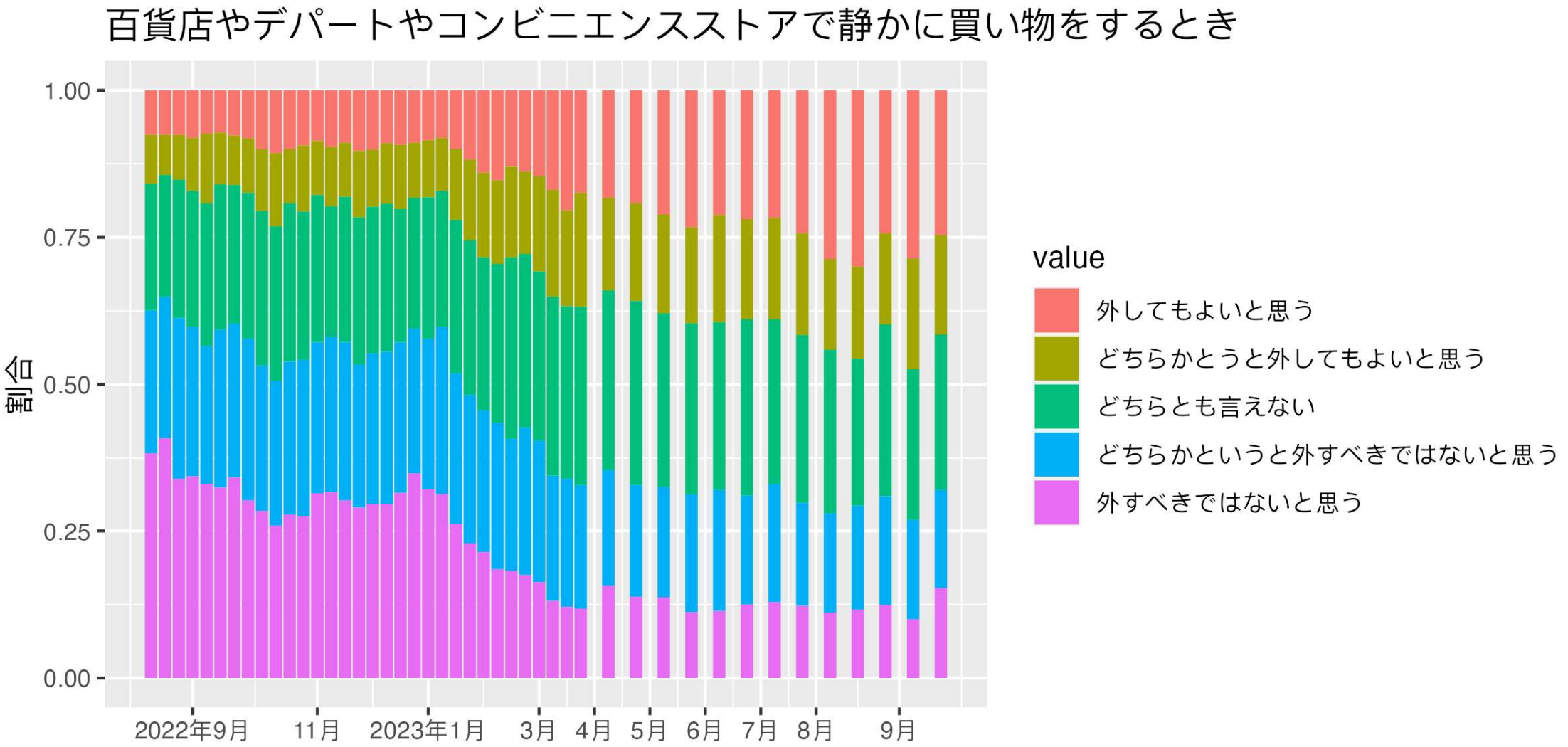
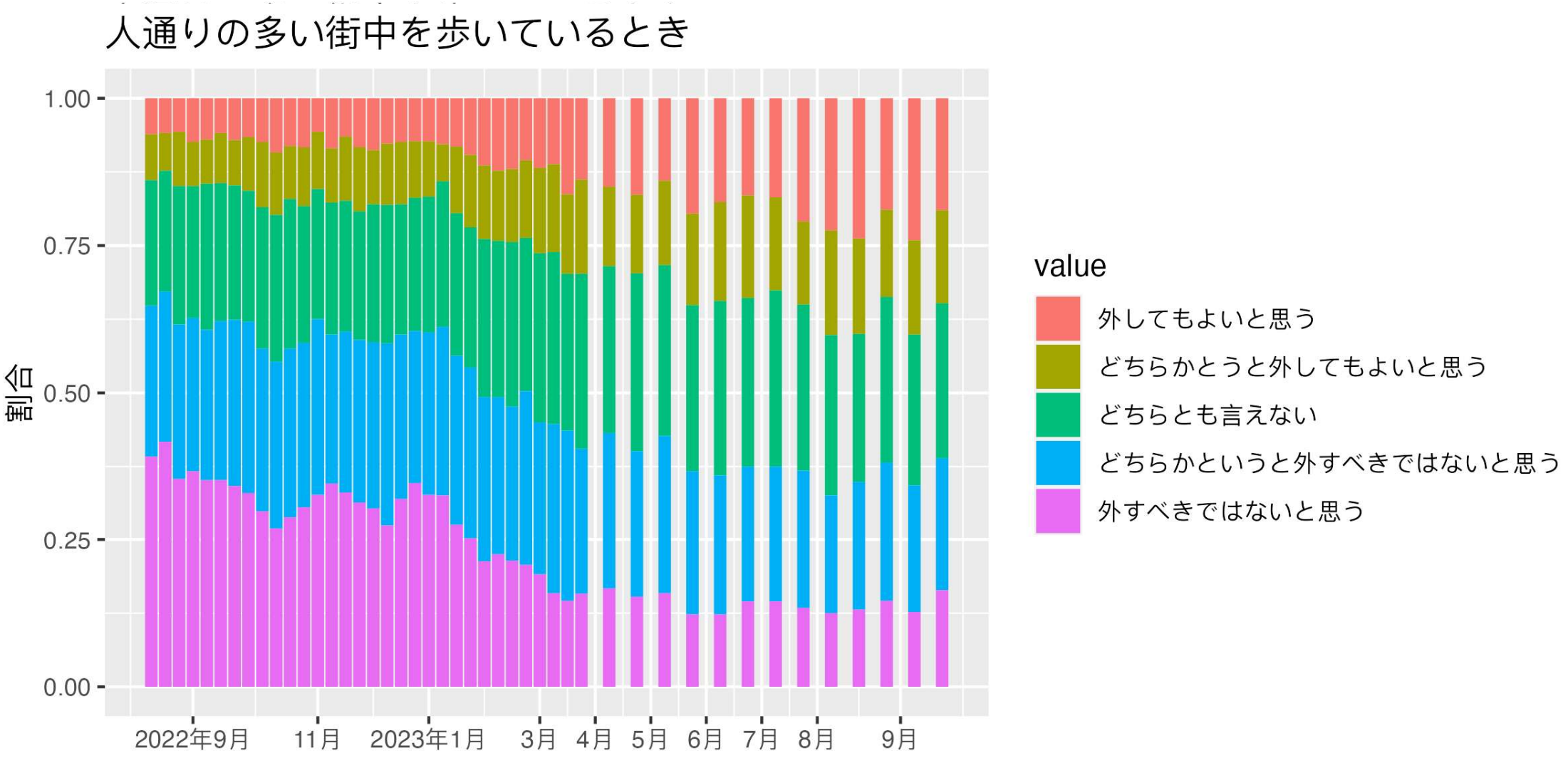
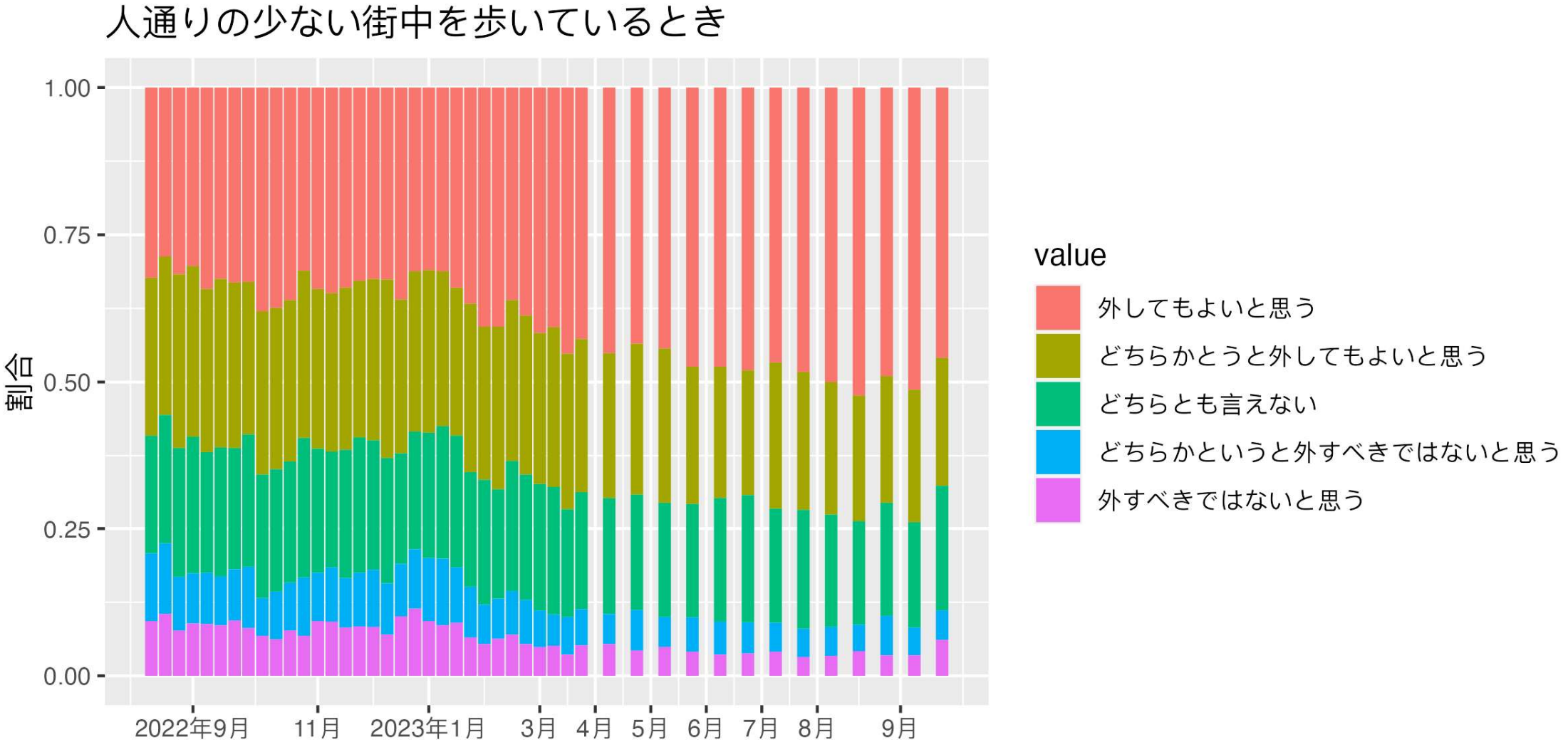
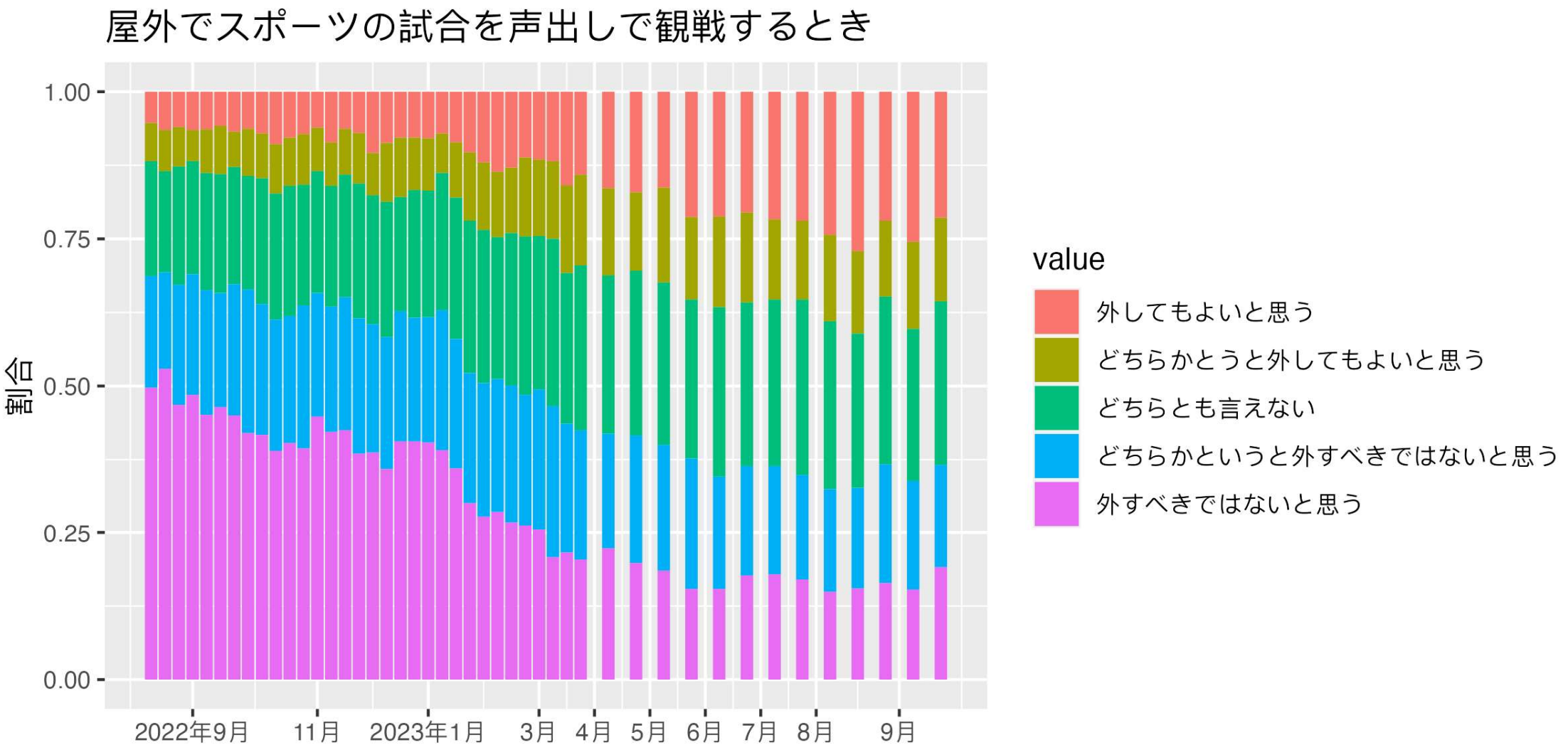

平均スコア（外すべきではない（1）-外してもよい(5)）
4
3
2
2022年9月
11月
2023年1月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
「外してもよい」と考える人が増加
case
人通りの少ない街中を歩いているとき
工事現場など、屋外で仕事をするとき
オフィスで黙ってデスクワークをしているとき
学校で黙って授業を受けているとき
映画館、劇場などで黙って鑑賞しているとき
静かに買い物をするとき
音楽の授業等で合唱をするとき
屋外でスポーツの試合を声出しで観戦するとき
人通りの多い街中を歩いているとき
学校で児童・生徒同士が話し合いをするとき
オフィスで対面で会話・会議をしたりするとき
ライブやコンサートに声出しで参加するとき
電車やバス等の公共交通機関の中

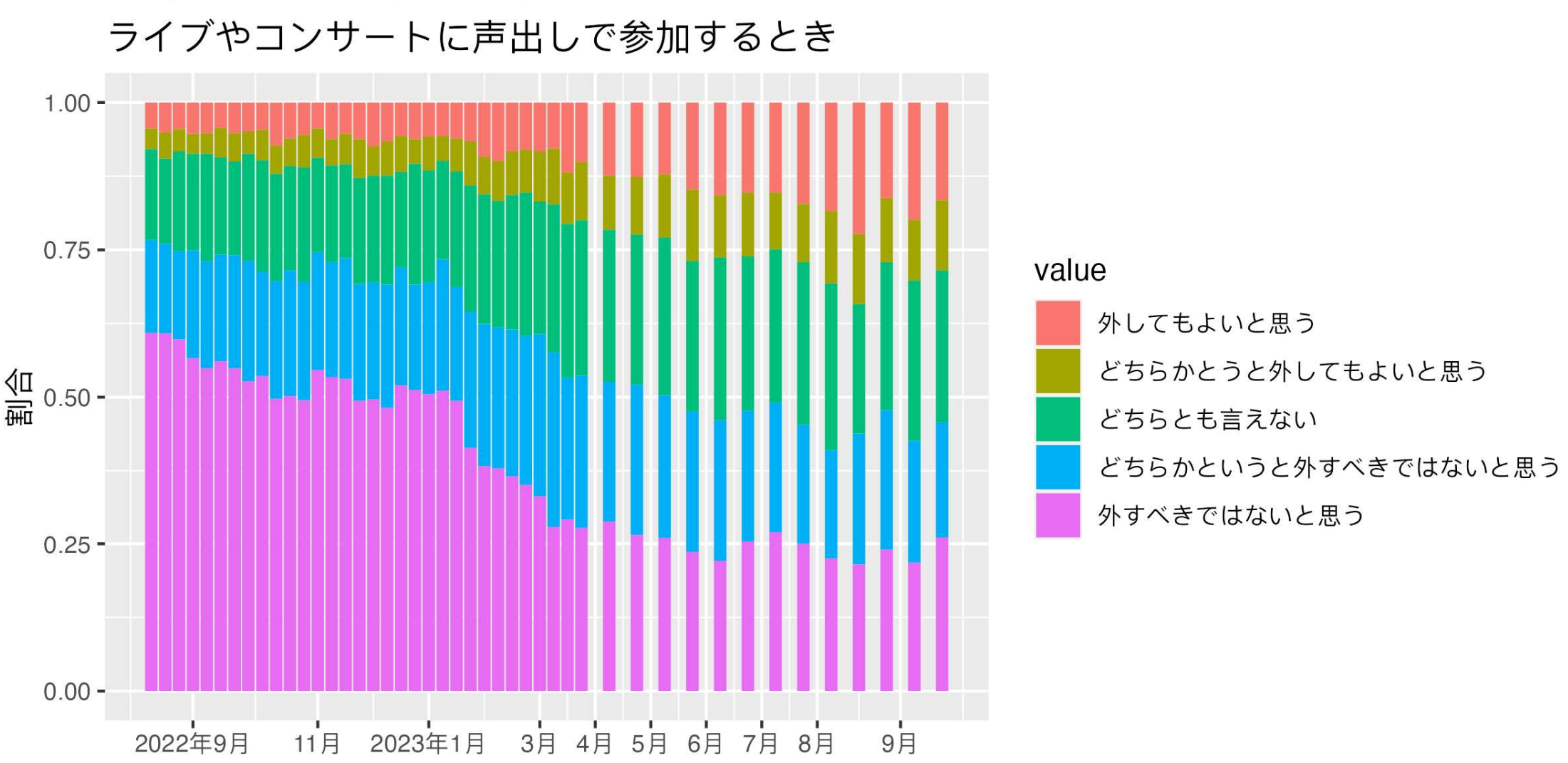
図3～：1から5
場面ごとに一つの図＜13場面＞

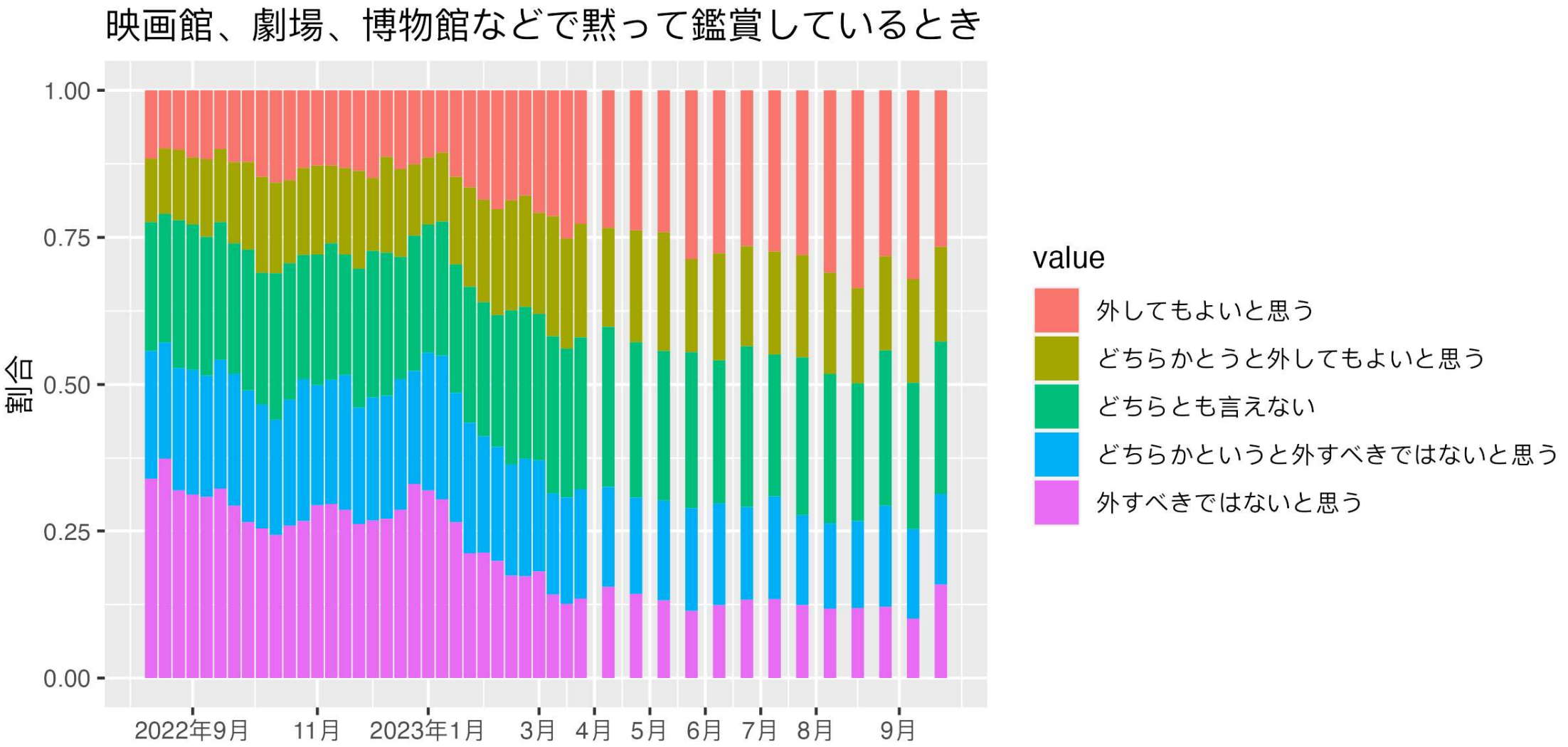

百貨店やデパートやコンビニエンスストアで静かに買い物をするとき
1.00
0.75
0.50
0.25
0.00
割合
2022年9月
11月
2023年1月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
value
外してもよいと思う
どちらかとうと外してもよいと思う
どちらとも言えない
どちらかというと外すべきではないと思う
外すべきではないと思う

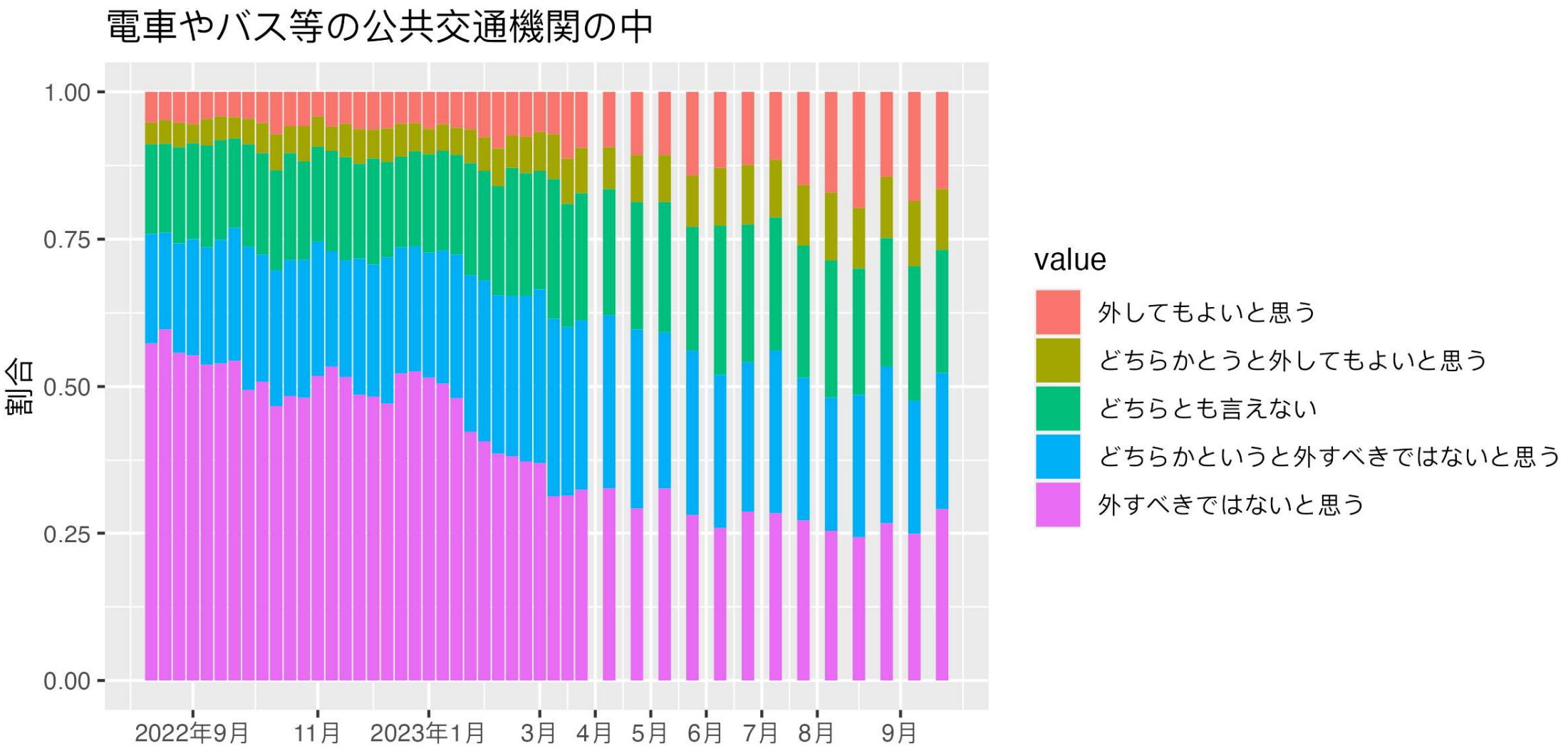

人通りの多い街中を歩いているとき
割合
1.00
0.75
0.50
0.25
0.00
2022年9月
11月
2023年1月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
value
外してもよいと思う
どちらかとうと外してもよいと思う
どちらとも言えない
どちらかというと外すべきではないと思う
外すべきではないと思う

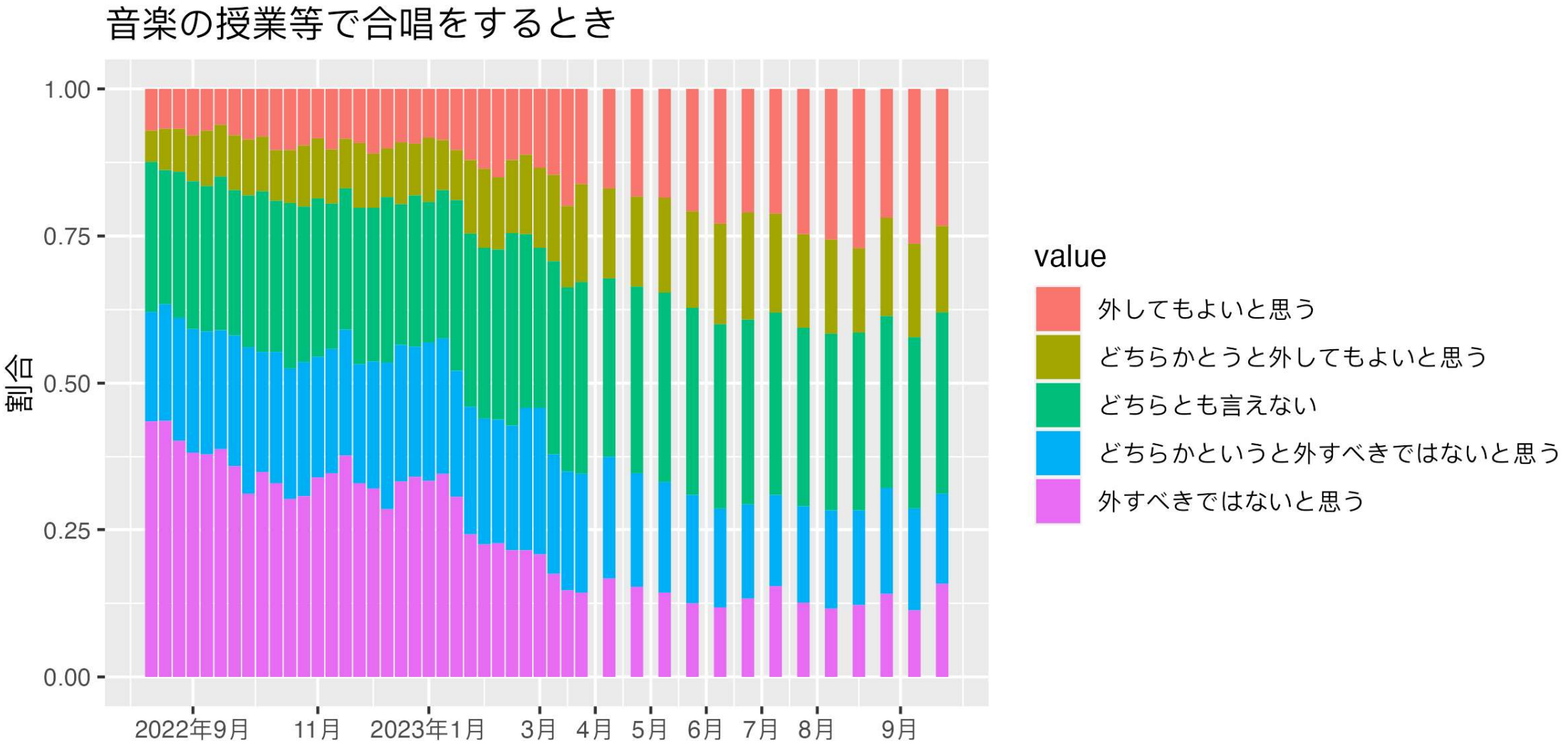

人通りの少ない街中を歩いているとき
割合
1.00
0.75
0.50
0.25
0.00
2022年9月
11月
2023年1月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
value
外してもよいと思う
どちらかとうと外してもよいと思う
どちらとも言えない
どちらかというと外すべきではないと思う
外すべきではないと思う

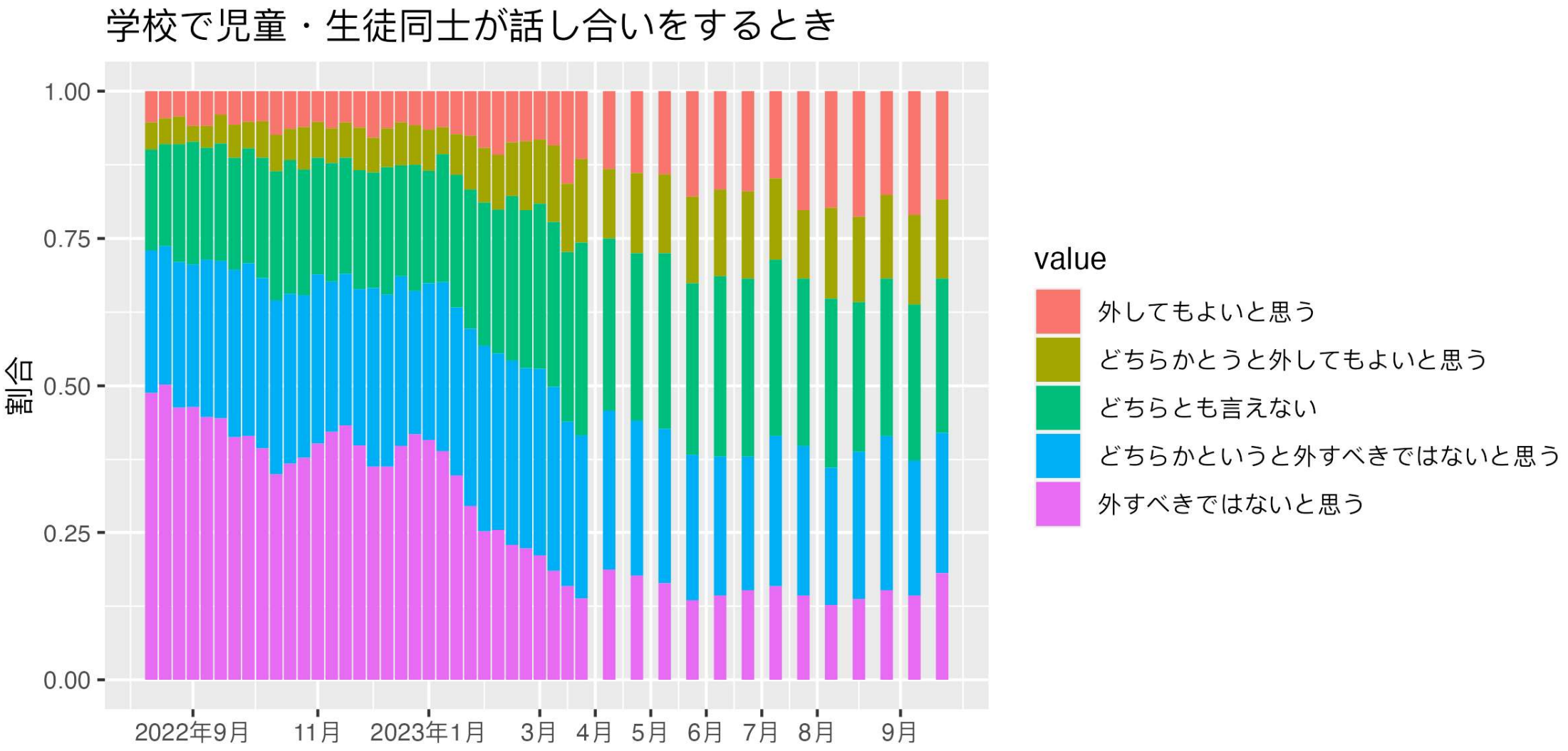

屋外でスポーツの試合を声出しで観戦するとき
割合
1.00
0.75
0.50
0.25
0.00
2022年9月
11月
2023年1月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
value
外してもよいと思う
どちらかとうと外してもよいと思う
どちらとも言えない
どちらかというと外すべきではないと思う
外すべきではないと思う

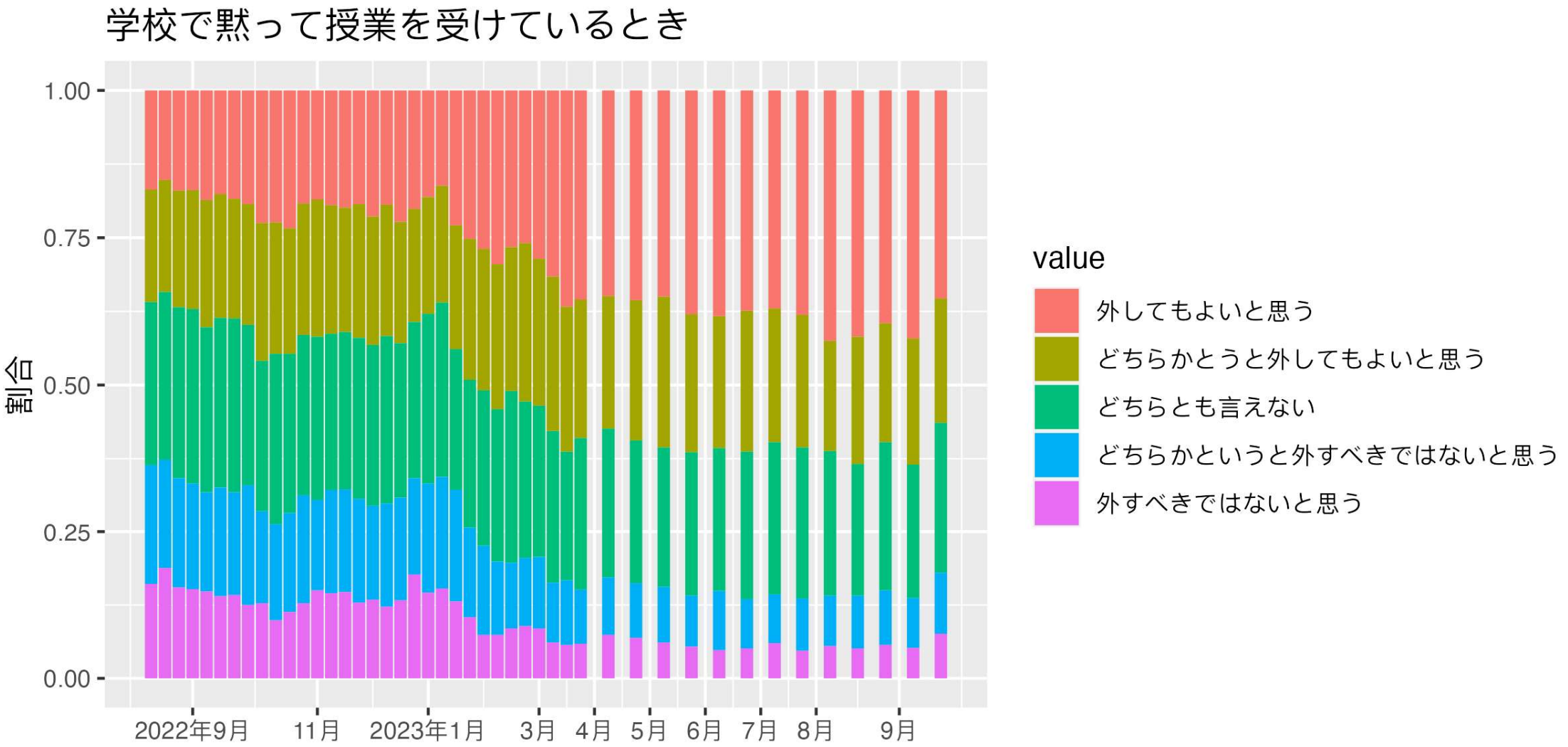

ライブやコンサートに声出しで参加するとき
割合
1.00
0.75
0.50
0.25
0.00
2022年9月
11月
2023年1月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
value
外してもよいと思う
どちらかとうと外してもよいと思う
どちらとも言えない
どちらかというと外すべきではないと思う
外すべきではないと思う

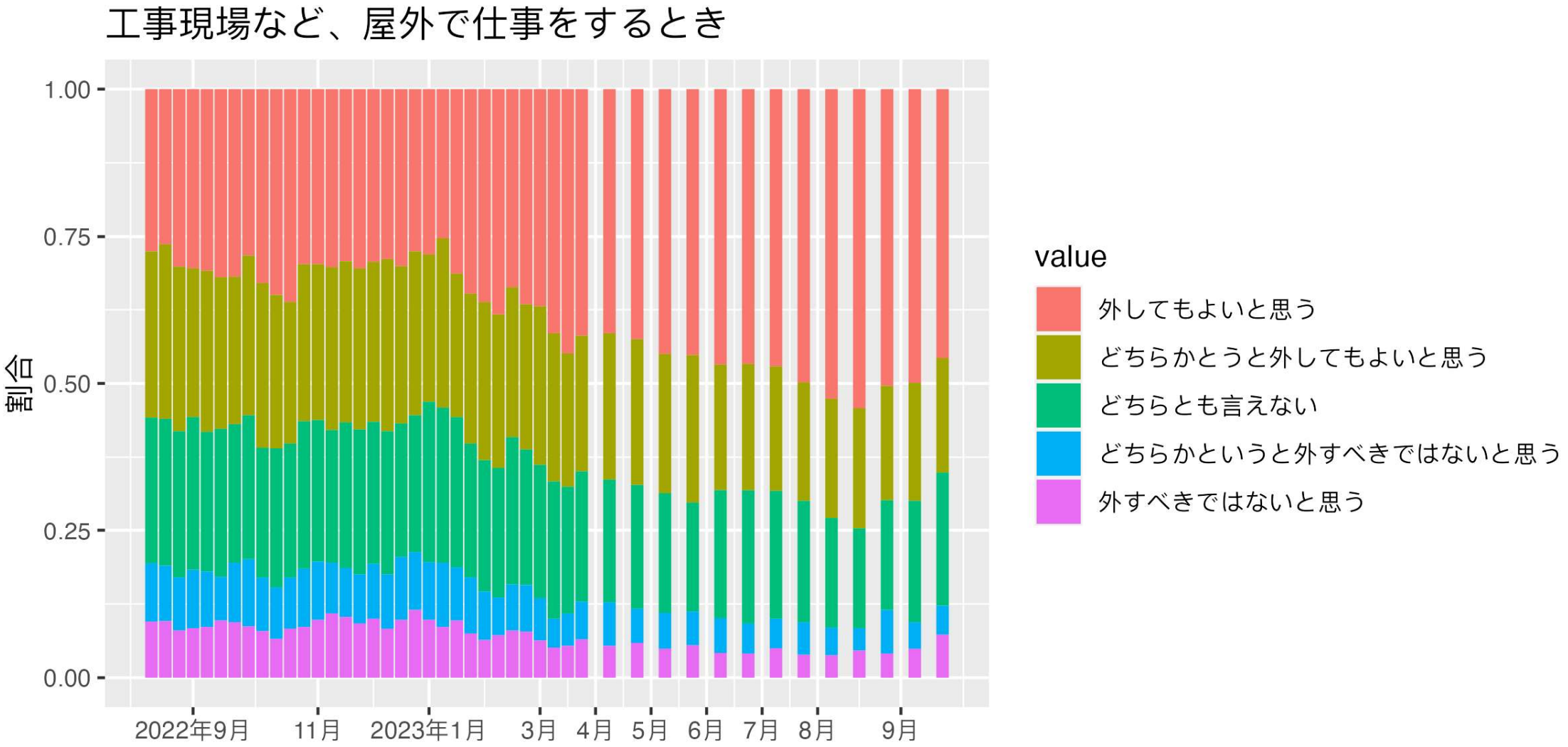

映画館、劇場、博物館などで黙って鑑賞しているとき
割合
1.00
0.75
0.50
0.25
0.00
2022年9月
11月
2023年1月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
value
外してもよいと思う
どちらかとうと外してもよいと思う
どちらとも言えない
どちらかというと外すべきではないと思う
外すべきではないと思う

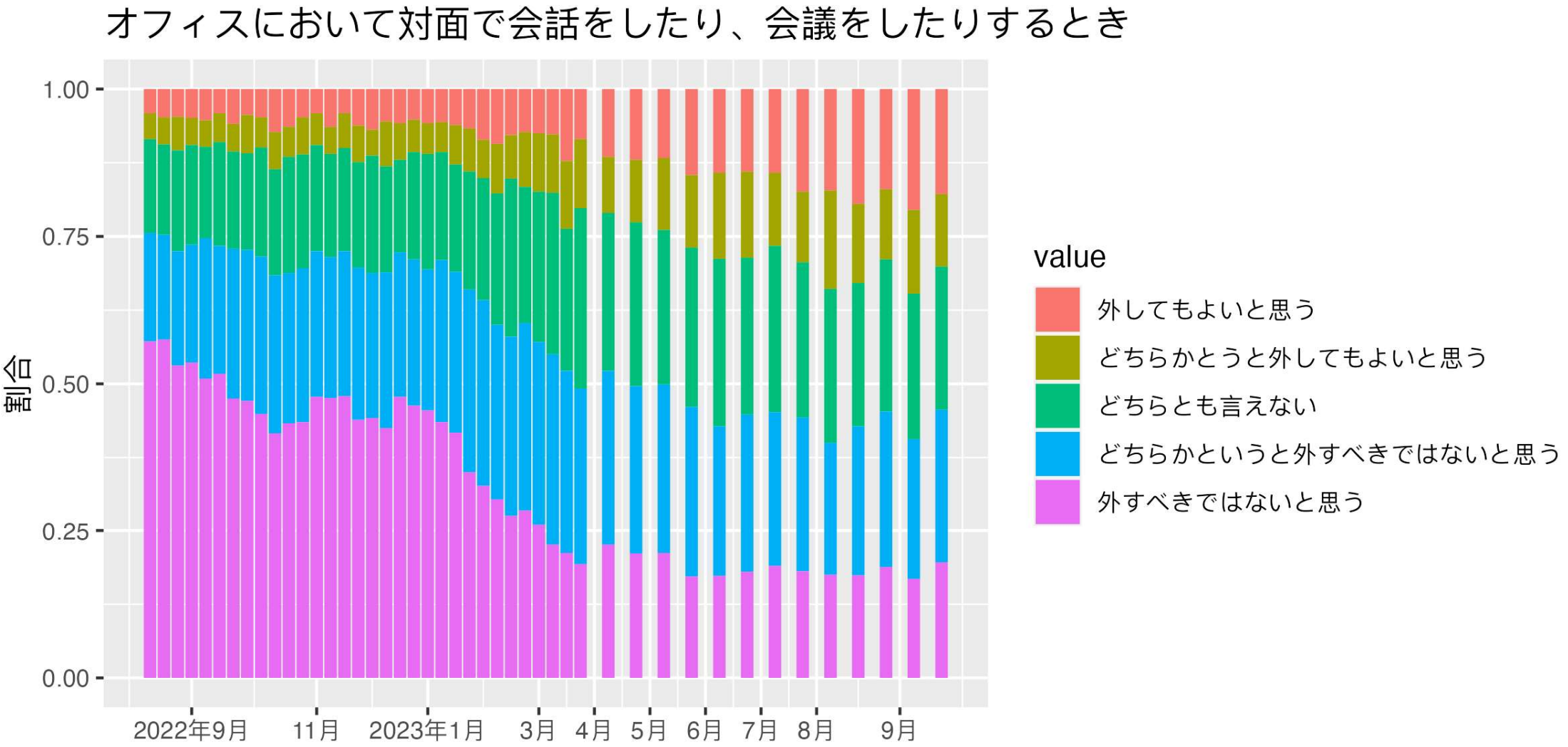

電車やバス等の公共交通機関の中
割合
1.00
0.75
0.50
0.25
0.00
2022年9月
11月
2023年1月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
value
外してもよいと思う
どちらかとうと外してもよいと思う
どちらとも言えない
どちらかというと外すべきではないと思う
外すべきではないと思う

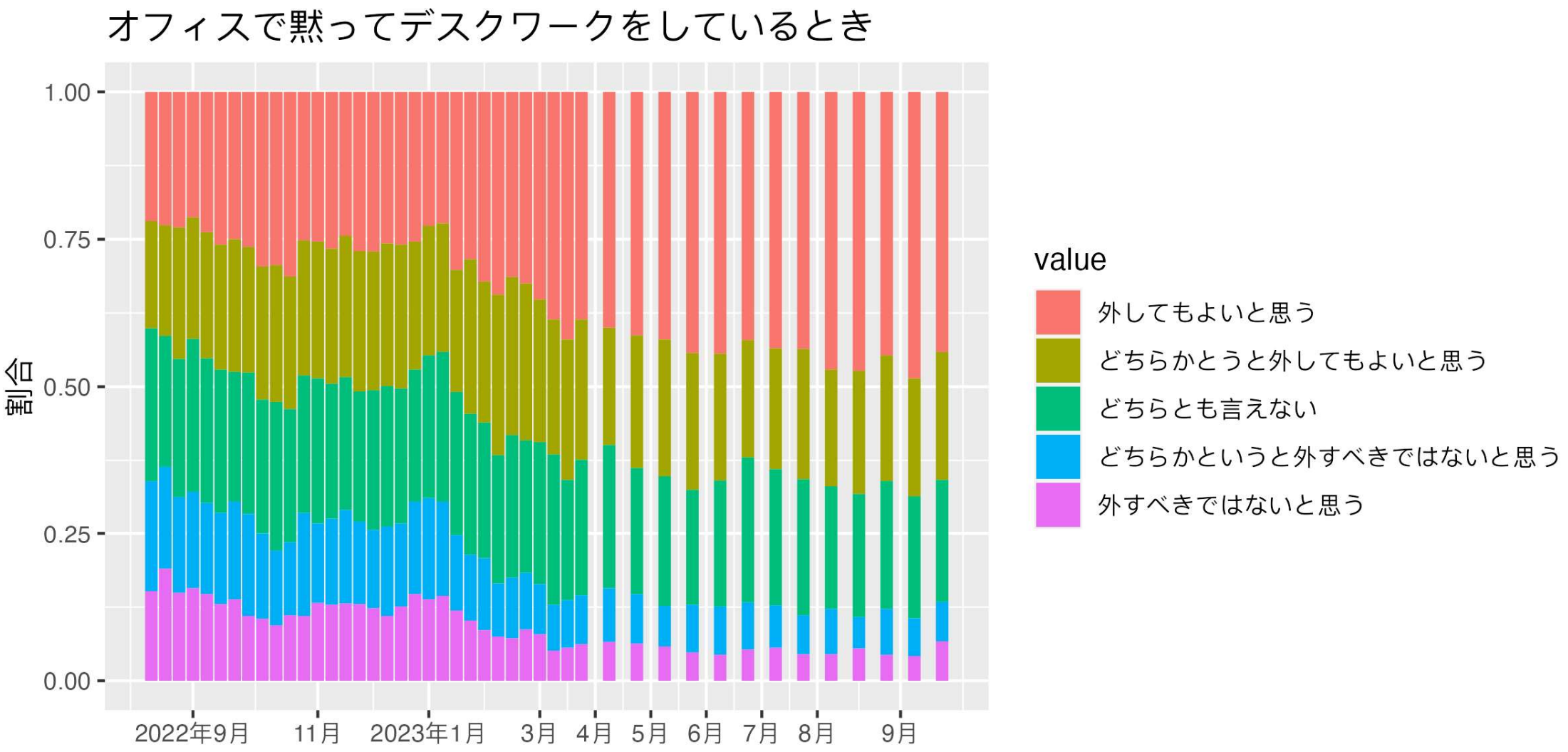

音楽の授業等で合唱をするとき
割合
1.00
0.75
0.50
0.25
0.00
2022年9月
11月
2023年1月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
value
外してもよいと思う
どちらかとうと外してもよいと思う
どちらとも言えない
どちらかというと外すべきではないと思う
外すべきではないと思う


学校で児童・生徒同士が話し合いをするとき
1.00
0.75
0.50
0.25
0.00
割合
2022年9月
11月
2023年1月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
value
外してもよいと思う
どちらかとうと外してもよいと思う
どちらとも言えない
どちらかというと外すべきではないと思う
外すべきではないと思う


学校で黙って授業を受けているとき
割合
1.00
0.75
0.50
0.25
0.00
2022年9月
11月
2023年1月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
value
外してもよいと思う
どちらかとうと外してもよいと思う
どちらとも言えない
どちらかというと外すべきではないと思う
外すべきではないと思う


工事現場など、屋外で仕事をするとき
割合
1.00
0.75
0.50
0.25
0.00
2022年9月
11月
2023年1月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
value
外してもよいと思う
どちらかとうと外してもよいと思う
どちらとも言えない
どちらかというと外すべきではないと思う
外すべきではないと思う


オフィスにおいて対面で会話をしたり、会議をしたりするとき
割合
1.00
0.75
0.50
0.25
0.00
2022年9月
11月
2023年1月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
value
外してもよいと思う
どちらかとうと外してもよいと思う
どちらとも言えない
どちらかというと外すべきではないと思う
外すべきではないと思う


オフィスで黙ってデスクワークをしているとき
割合
1.00
0.75
0.50
0.25
0.00
2022年9月
11月
2023年1月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
value
外してもよいと思う
どちらかとうと外してもよいと思う
どちらとも言えない
どちらかというと外すべきではないと思う
外すべきではないと思う

図B：着用状況と着用意向の乖離
場面ごとに線＜4つの場面＞

集計方法

- 同一の場面において、以下の定義で集計
  - 外しても良い（A）　～～～　「外してもよいと思う」もしくは「どちらかというと外してもよいと思う」
  - 着用している人（B）～～～　「常にしている」もしくは「おおむねしている」
  - AかつBの人の割合を計算（“外してもよいと考えているが何らかの理由で着用している人”）

以下のそれぞれの場面においてマスクを外すことについてどう考えますか。それぞれご自身の考えに当てはまるものをお選びください。／人通りの少ない街中を歩いているとき（ＳＡ）

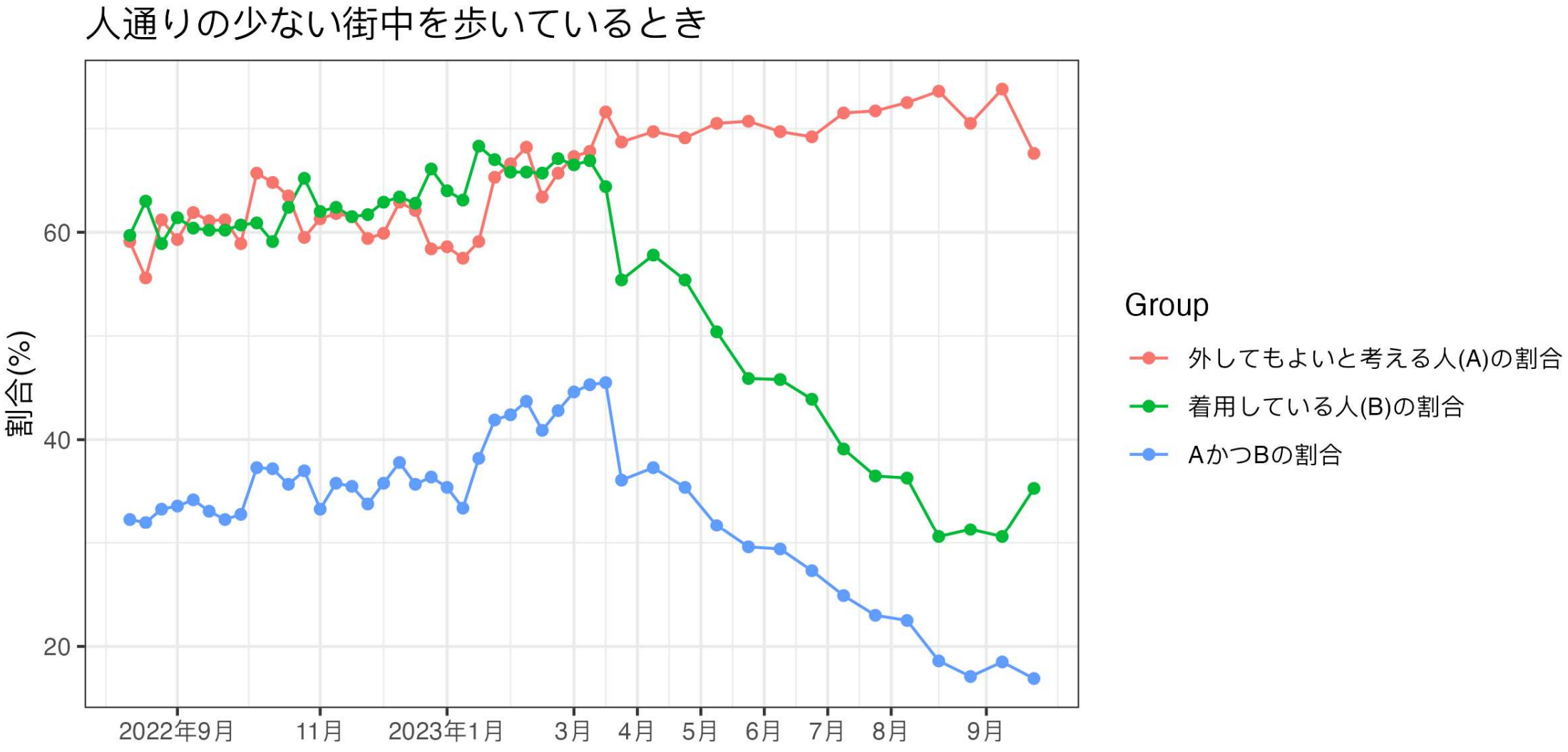
A

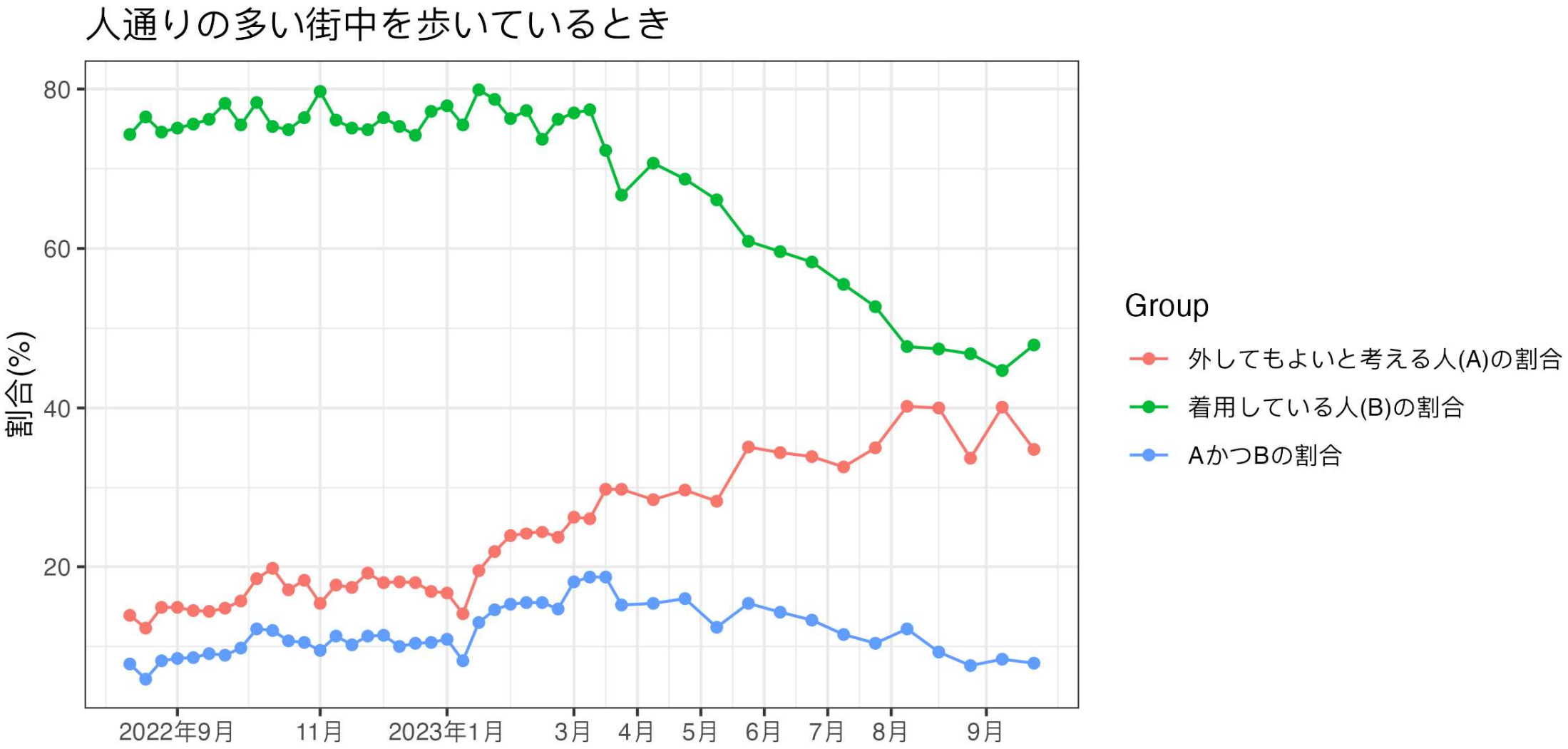
		回答数	%
	全体	1000	100.0
1	外してもよいと思う	417	41.7
2	どちらかというと外してもよいと思う	256	25.6
3	どちらともいえない	216	21.6
4	どちらかというと外すべきではないと思う	62	6.2
5	外すべきではないと思う	49	4.9

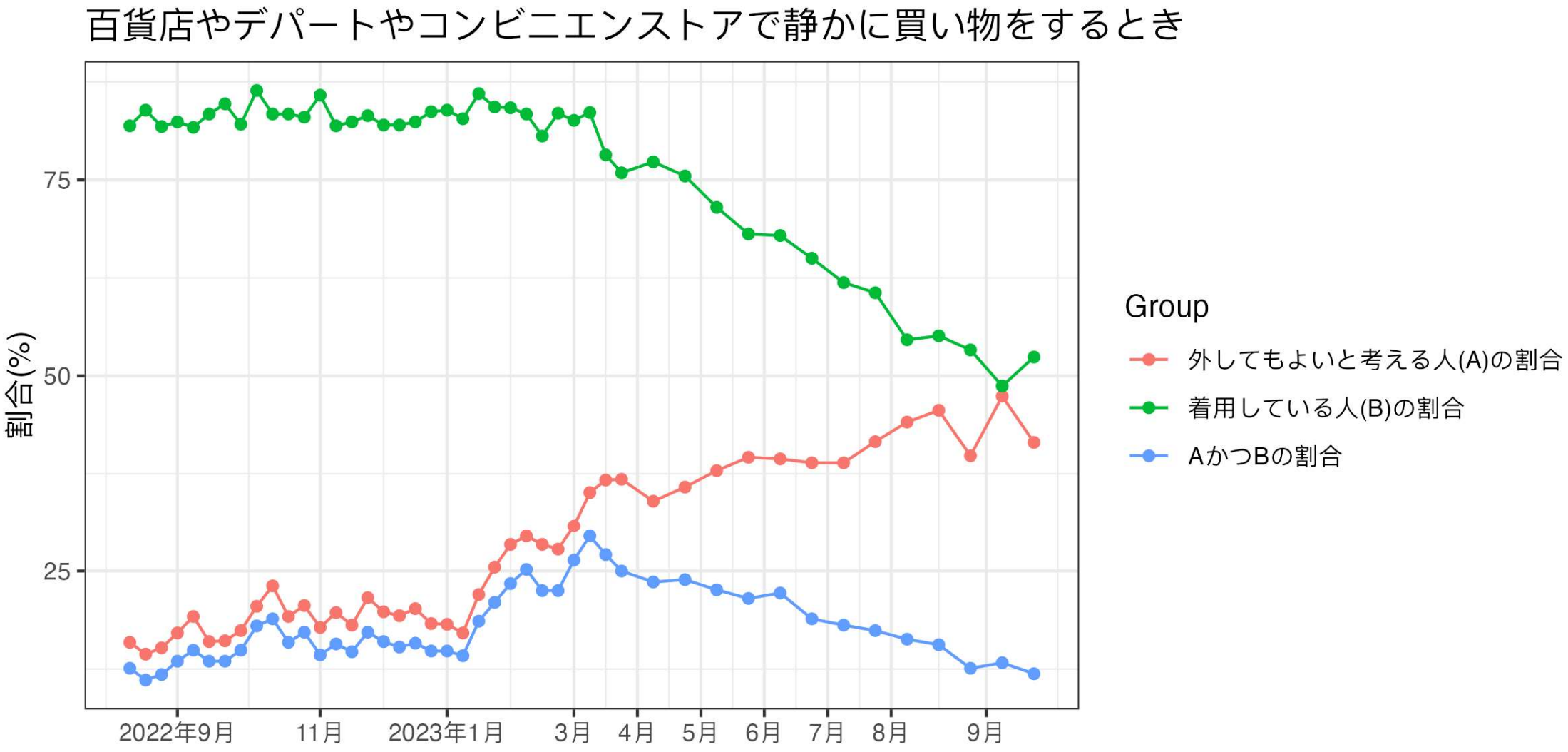
それぞれの場所において、マスクをどの程度着用しているか、最近１週間の状況について、当てはまるものを一つお選びください。／人通りの少ない街中を歩いているとき（ＳＡ）

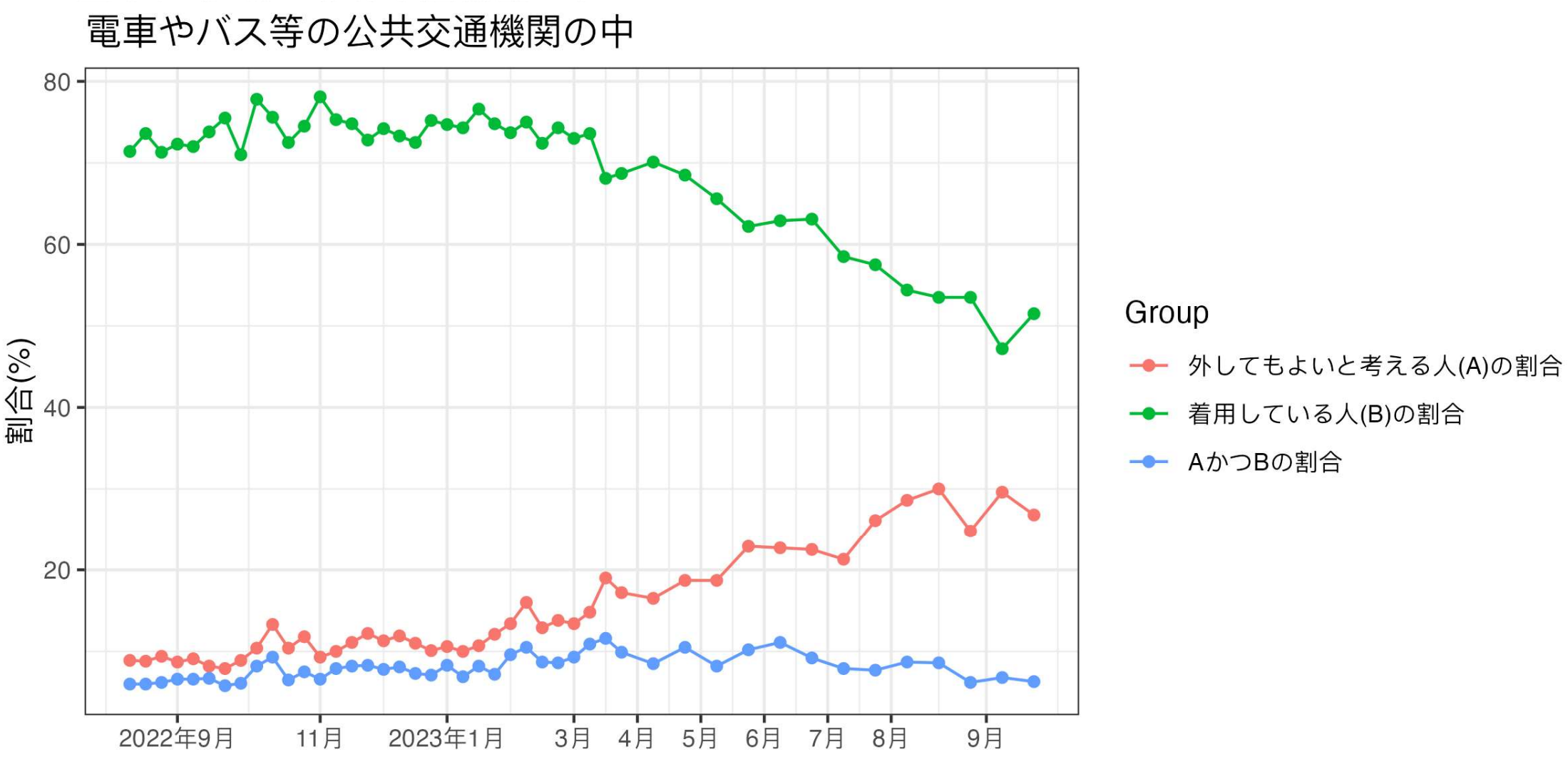
B

		回答数	%
	全体	1000	100.0
1	常にしている	466	46.6
2	おおむねしている	199	19.9
3	時々している	97	9.7
4	あまりしていない	127	12.7
5	全くしていない	60	6.0
6	該当する場所には行かなかった	51	5.1

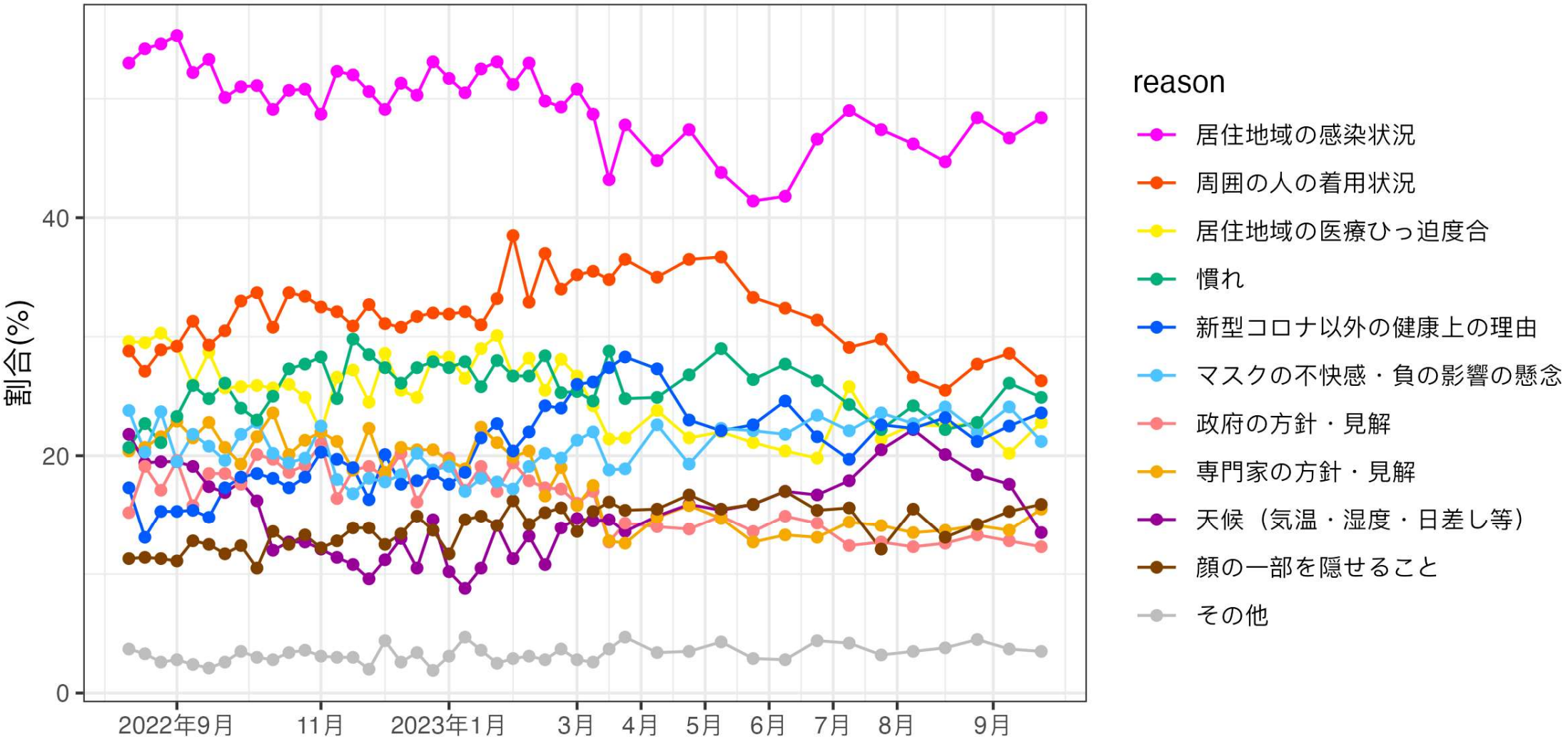

人通りの少ない街中を歩いているとき
割合(%)
60
40
20
2022年9月
11月
2023年1月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
Group
外してもよいと考える人(A)の割合
着用している人(B)の割合
AかつBの割合


人通りの多い街中を歩いているとき
割合(%)
80
60
40
20
2022年9月
11月
2023年1月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
Group
外してもよいと考える人(A)の割合
着用している人(B)の割合
AかつBの割合


百貨店やデパートやコンビニエンストアで静かに買い物をするとき
割合(%)
75
50
25
2022年9月
11月
2023年1月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
Group
外してもよいと考える人(A)の割合
着用している人(B)の割合
AかつBの割合

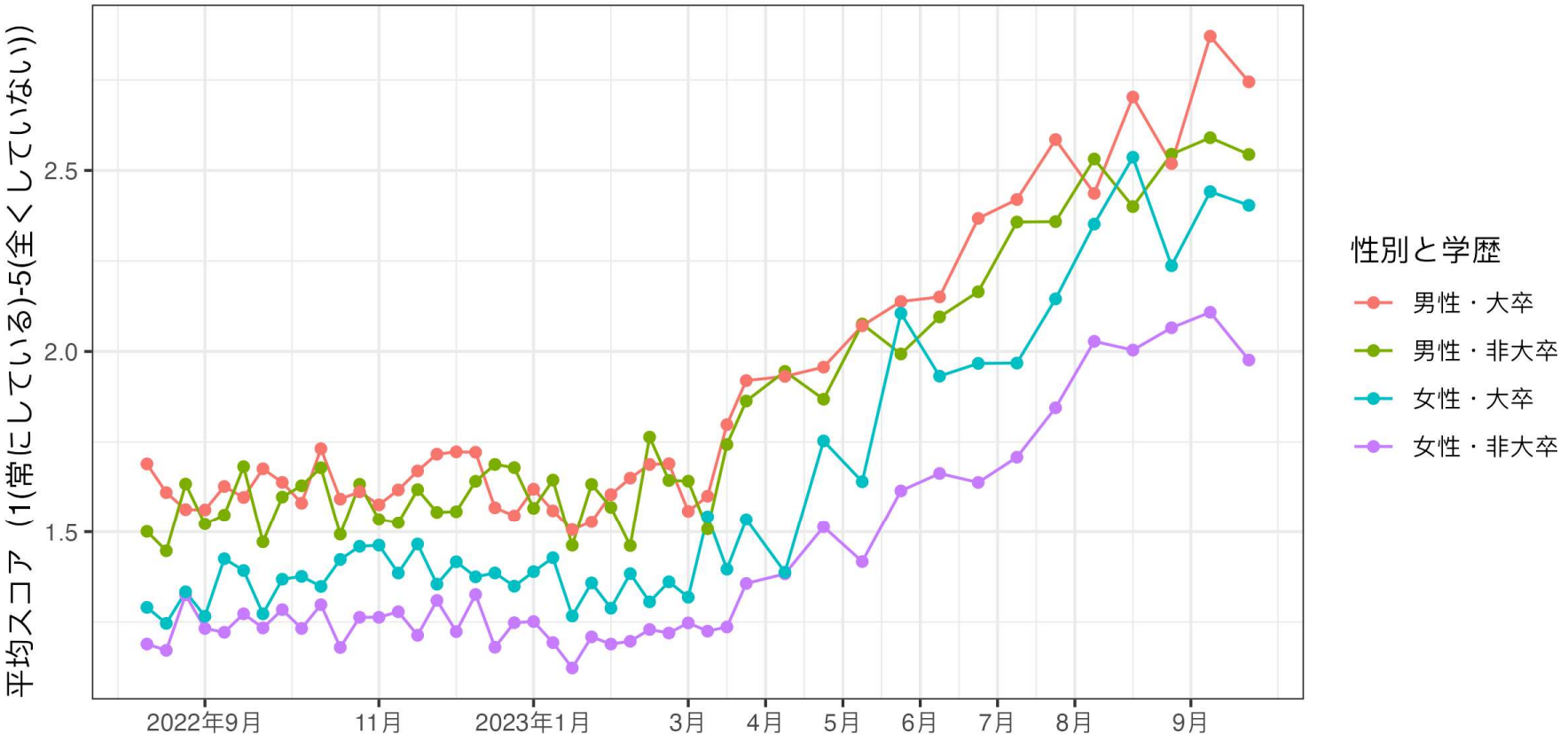

電車やバス等の公共交通機関の中
割合(%)
80
60
40
20
2022年9月
11月
2023年1月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
Group
外してもよいと考える人(A)の割合
着用している人(B)の割合
AかつBの割合

３．判断材料


割合(%)
0
20
40
2022年9月
11月
2023年1月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
reason
居住地域の感染状況
周囲の人の着用状況
居住地域の医療ひっ迫度合
慣れ
新型コロナ以外の健康上の理由
マスクの不快感・負の影響の懸念
政府の方針・見解
専門家の方針・見解
天候（気温・湿度・日差し等）
顔の一部を隠せること
その他

４．男女・学歴別の着用状況

男女・学歴別の着用状況（７つの場面の平均スコア）



- Taisuke Nakata is supported by JSPS Grant-in-Aid for Scientific Research (KAKENHI), Project Number 22H04927, the Research Institute of Science and Technology for Society at the Japan Science and Technology Agency, COVID-19 AI and Simulation Project (Cabinet Secretariat), the Center for Advanced Research in Finance at the University of Tokyo, and the Tokyo Center for Economic Research.

- **過去・現在の政策分析と研究**
  - https://www.bicea.e.u-tokyo.ac.jp/
  - https://covid19-icu-tool.herokuapp.com/
  - https://covid19outputjapan.github.io/JP/resources.html